

## 第2期鳥取市創生総合戦略の令和4年度実績について

## 1. 基本目標の達成状況

柱	基本目標	内部評価						外部評価						
		①順調/達成	②概ね順調	③やや遅延	④遅延	⑥未達成	①または②の割合	⑤評価対象外※4	A	B	C	D	AまたはBの割合	⑤評価対象外※4
		100%以上	80%~99%	60%~79%	0%~59%	※1	※2		計画どおり	ほぼ計画どおり	目標をやや下回る	目標を大きく下回る	※3	
次世代の鳥取市を担うひとづくり	結婚・出産・子育ての希望がかなうまちづくり	0	1	0	0	0	100.0%	2	0	1	0	0	100.0%	2
	ふるさとを愛する心豊かな人財を育むまちづくり	2	1	0	0	0	100.0%	0	2	1	0	0	100.0%	0
誰もが活躍できるしごとづくり	稼ぐ地域・仕事と安定した雇用環境づくり	2	4	1	0	0	85.7%	0	1	5	1	0	85.7%	0
にぎわいにあふれ安心して暮らせるまちづくり	都市部等とのつながりを築き、人が行きかうまちづくり	0	3	0	0	1	75.0%	1	0	3	1	0	75.0%	1
	快適で暮らしやすい魅力と活力あるまちづくり	2	0	0	0	0	100.0%	3	2	0	0	0	100.0%	3
	健康寿命を延伸し、活力ある健康長寿のまちづくり	2	0	0	0	0	100.0%	0	2	0	0	0	100.0%	0
	誰もが安心して暮らし続けることができるまちづくり	0	0	1	0	0	0.0%	4	0	0	1	0	0.0%	4
合計		8	9	2	0	1	85.0%	10	7	10	3	0	85.0%	10

## 2. KPI（重要業績評価指標）の達成状況

柱	基本目標	内部評価						外部評価						
		①順調/達成	②概ね順調	③やや遅延	④遅延	⑥未達成	①または②の割合	⑤評価対象外※4	A	B	C	D	AまたはBの割合	⑤評価対象外※4
		100%以上	80%~99%	60%~79%	0%~59%	※1	※2		計画どおり	ほぼ計画どおり	目標をやや下回る	目標を大きく下回る	※3	
次世代の鳥取市を担うひとづくり	結婚・出産・子育ての希望がかなうまちづくり	5	2	0	0	1	87.5%	0	4	3	1	0	87.5%	0
	ふるさとを愛する心豊かな人財を育むまちづくり	2	3	1	1	0	71.4%	0	2	3	1	1	71.4%	0
誰もが活躍できるしごとづくり	稼ぐ地域・仕事と安定した雇用環境づくり	7	4	4	10	0	44.0%	0	7	4	5	9	44.0%	0
にぎわいにあふれ安心して暮らせるまちづくり	都市部等とのつながりを築き、人が行きかうまちづくり	6	3	1	2	0	75.0%	0	5	4	1	2	75.0%	0
	快適で暮らしやすい魅力と活力あるまちづくり	4	4	4	1	0	61.5%	0	3	5	4	1	61.5%	0
	健康寿命を延伸し、活力ある健康長寿のまちづくり	3	2	3	1	0	55.6%	0	3	2	3	1	55.6%	0
	誰もが安心して暮らし続けることができるまちづくり	4	6	3	0	0	76.9%	0	4	5	4	0	69.2%	0
合計		31	24	16	15	1	63.2%	0	28	26	19	14	62.1%	0

- ※1 指標の特性上「できた」「できなかった」で評価したもののうち、「できなかった」に属するもの  
 ※2 ①「順調/達成」または②「概ね順調」の割合 (①②÷①②③④⑥)  
 ※3 A「計画どおり」またはB「ほぼ計画どおり」の割合 (A+B÷ABCD未評価)  
 ※4 今回評価の対象ではないもの(令和6年度実施予定の市民アンケート調査を指標としているものなど)



## 第2期創生総合戦略の施策評価について

### ●内部評価について

- 各施策の令和4年度の実績を踏まえ、達成率や取組の状況、評価区分（①順調 ②概ね順調 ③やや遅延 ④遅延 ⑤評価対象外 ⑥未達成）、担当課意見を内部評価としてまとめています。
- 達成率は令和4年度実績／年次目標値により算出しています。
- 達成率で評価できないものは、指標に対する令和4年度実績（取組状況）を踏まえ評価しています。

### <評価の目安>

#### (パターンA) 年次目標値に対する達成度で評価するもの

評価区分	達成率区分	評価にあたっての目安・留意事項
① 順 調	100%以上	評価コメント（課題・今後の方向性等）欄は、令和4年度の実績や成果を踏まえて記載しています。
② 概 ね 順 調	80%～99%	
③ や や 遅 延	60%～79%	
④ 遅 延	0%～59%	
⑤ 評 価 対 象 外	—	当該年度の年次目標値が設定できないものは「評価対象外」とし、令和4年度の実績状況を踏まえ、課題、今後の取組方針や方向性等について記載しています。

#### (パターンB) 指標の性質上、「できた」「できなかった」で評価するもの

評価区分	達成率区分	評価にあたっての目安・留意事項
① 達 成	100%以上	評価コメント（課題・今後の方向性等）欄は、令和4年度の実績や成果を踏まえて記載しています。
⑥ 未 達 成	0%～99%	

### ●総合企画委員評価（外部評価）について

評価区分	評価の内容
A	計画以上に進捗しており、十分評価できる。今後も継続して施策の推進に努めてほしい。
B	ほぼ計画通りに進捗しており、一定の評価はできる。今後も計画以上の進捗に向け施策の推進に努めてほしい。
C	目標をやや下回る要因の分析を要する。今後の進め方を再度検討する必要がある。
D	目標を大きく下回っており、その要因の分析と施策の見直しが必要である。



## 第2期鳥取市創生総合戦略 施策体系

I	S A N I T Y	<b>【基本目標Ⅰ－1】結婚・出産・子育ての希望がかなうまちづくり</b> <input type="checkbox"/> 結婚・出産・子育て支援
		<b>【基本目標Ⅰ－2】ふるさとを愛する心豊かな人財を育むまちづくり</b> <input type="checkbox"/> 教育の充実・郷土愛の醸成 <input type="checkbox"/> 生涯学習の推進
II	S A F E T Y	<b>【基本目標Ⅱ－1】稼ぐ地域・仕事と安定した雇用環境づくり</b> <input type="checkbox"/> 持続可能な経済成長の実現 <input type="checkbox"/> 工業の振興 <input type="checkbox"/> 商業とサービス業等の振興 <input type="checkbox"/> 農林水産業の成長産業化
III	M A K I N G	<b>【基本目標Ⅲ－1】都市部等とのつながりを築き、人が行きかうまちづくり</b> <input type="checkbox"/> ふるさと・いなか回帰の促進 <input type="checkbox"/> 滞在型観光の推進 <input type="checkbox"/> シティセールスの推進 <input type="checkbox"/> 文化芸術によるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 自治体間連携の推進
		<b>【基本目標Ⅲ－2】快適で暮らしやすい魅力と活力あるまちづくり</b> <input type="checkbox"/> 生活基盤の充実 <input type="checkbox"/> 中心市街地の活性化 <input type="checkbox"/> 魅力ある中山間地域の振興 <input type="checkbox"/> 交通ネットワークの充実 <input type="checkbox"/> 地域情報化の推進
		<b>【基本目標Ⅲ－3】健康寿命を延伸し、活力ある健康長寿のまちづくり</b> <input type="checkbox"/> スポーツ・レクリエーションの振興 <input type="checkbox"/> 健康づくり・疾病予防・介護予防の推進
		<b>【基本目標Ⅲ－4】誰もが安心して暮らし続けることができるまちづくり</b> <input type="checkbox"/> 協働のまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 地域福祉のまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 超高齢社会に向けたまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 多文化共生のまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 地域防災力の向上



### 3. 評価指標ごとの達成状況

#### 【柱Ⅰ】次世代の鳥取市を担うひとづくり

##### 【基本目標Ⅰ-1】結婚・出産・子育ての希望がかなうまちづくり

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
数値目標	1	鳥取市の合計特殊出生率	一人の女性が一生に産む子どもの平均数として算出された当該年の人口統計上の数値。	目標値(単年)	-	-	-	-	1.57	1.60	1.62	1.65	1.67	② 概ね 順調	合計特殊出生率は平成30年以降、概ね1.5前後で推移しており、令和4年は市試算値で1.55となった。 合計特殊出生率低下の社会経済要因として、未婚率や初婚年齢の上昇、夫婦の子ども数の減少、若年層の転出超過が考えられ、「結婚への意欲・機会の減少」「経済的・生活基盤の弱さ」「仕事と家庭の両立の困難さ」「育児負担の重さ」「魅力的な就業機会の不足」などの影響を受けていると考える。 少子化の要因をしっかりと踏まえて、各種対策を立案・実施し、長期的な視点で少子化対策に取り組む。 ※令和4年の県内市町村別の合計特殊出生率の県公表は、今年度後半になる見込みのため、評価は市試算値で実施する。	地方創生・デジタル化推進室	B
				実績値(単年)	-	1.50	1.48	1.54	1.49	1.55							
				達成率	%	-	-	-	94.9%	96.9%							
数値目標	2	「子育てを楽しみ」と思う市民の割合	当該年度実施の市民アンケート調査で中程度の評価より高い回答をした市民の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	-	-	-	70.0	-	⑤ 評価 対象 外	令和6年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。 今後多様化する保育ニーズに対応できるよう、子育て支援事業を継続して実施していく。	こども未来課	評価 対象 外
				実績値(単年)	%	-	66.0	-	-	-	-	-					
				達成率	%	-	-	-	-	-	-	-					
数値目標	3	「子育てしやすい環境」と思う市民の割合	当該年度実施の市民アンケート調査で「子育てしやすい(子育てしやすかった)」と回答をした市民の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	-	-	-	65.0	-	⑤ 評価 対象 外	令和6年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。 今後多様化する保育ニーズに対応できるよう、子育て支援事業を継続して実施していく。	こども未来課	評価 対象 外
				実績値(単年)	%	-	61.5	-	-	-	-	-					
				達成率	%	-	-	-	-	-	-	-					

【重点施策】結婚・出産・子育て支援

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	4	麒麟のまち婚活サポートセンターにおける成婚数	R3~7年度の麒麟のまち婚活サポートセンター登録者の成婚数の累計。	目標値(単年)	組	-	-	-	6	6	6	6	6	① 順調	目標値を達成したが、交際まで進展するカップルが少ないため、婚活アドバイザーとして活躍する方をアドバイザーに迎え事業のブラッシュアップを図るとともに、サークル活動を開始するなど、交際が継続し、解消されにくいカップルの成立を目指すことで成婚につなげ、結婚を望む人の希望をかなえられるよう取り組む。	政策企画課	B
				目標値(累計)	組	-	-	-	6	12	18	24	30				
				実績値(単年)	組	-	6	8	7	6							
				実績値(累計)	組	-	-	-	7	13							
				達成率	%	-	-	-	116.7%	108.3%							
KPI	5	妊婦相談率	当該年度に妊婦が妊娠中に保健師等に相談した割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	100	100	100	100	100	① 順調	妊娠期から安心して子育てを迎えられるよう情報提供を行い、妊婦同士の交流を通して悩みや不安の軽減を図った。妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目のない支援を行い、孤立を防ぎ安心して子育てできるように今後も継続して支援していく。	健康・子育て推進課	A
				実績値(単年)	%	-	99.7	100	99.8	100							
				達成率	%	-	-	-	99.8%	100.0%							
KPI	6	新生児訪問の訪問率	当該年に保健師等が生後4か月未満の新生児を訪問した割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	100	100	100	100	100	② 概ね順調	子育てに関する不安などの相談等に応じ、母子が孤立せず安心して子育てができるよう今後も継続して支援していく。訪問できない場合は、電話での聞き取りや関係機関と連携し状況把握に努めていく。	健康・子育て推進課	B
				実績値(単年)	%	-	98.9	98.0	97.1	97.6							
				達成率	%	-	-	-	97.1%	97.6%							
KPI	7	保育園の待機児童数(4月1日現在)	当該年度の4月1日現在における保育園の入園申込みをしたにも関わらず入園できない状態にある児童の数。	目標値(単年)	人	-	-	-	0	0	0	0	0	① 達成	4月1日現在における待機児童数はゼロを継続している。今後も施設整備等の支援や、保育ニーズに沿った受入調整を行い、待機児童ゼロを継続していく。	幼児保育課	A
				実績値(単年)	人	0	0	0	0	0							
				達成率	-	-	-	-	達成	達成							
KPI	8	保育園の待機児童数(10月1日現在)	当該年度の10月1日現在における保育園の入園申込みをしたにも関わらず入園できない状態にある児童の数。	目標値(単年)	人	-	-	-	0	0	0	0	0	⑥ 未達成	10月1日現在における待機児童数は、前年度より大幅に減少したものの、目標値を達成できなかった。年度中途の保育希望は低年齢化が進んでおり、配置基準を満たす保育士の確保が課題となっている。今後も保育ニーズに沿った受け皿を確保する取組を進めていく。	幼児保育課	C
				実績値(単年)	人	33	20	20	26	7							
				達成率	-	-	-	-	未達成	未達成							
KPI	9	ファミリー・サポート・センターの提供会員及び両方会員数	会員は、①育児の援助を受けたい人(依頼会員)と②育児の援助を行いたい人(提供会員)及び③そのどちらも会員登録をした人(両方会員)があり、当該年度末の②及び③の数。	目標値(単年)	人	-	-	-	97	111	112	113	113以上	① 順調	令和4年度は提供会員が6人増、両方会員が2人減であったものの、全体では緩やかに増加している。相互援助により育児の負担軽減や仕事との両立が図られるためには、提供会員、両方会員の更なる確保が必要であるため、引き続き取組を進めていく。	幼児保育課	A
				実績値(単年)	人	91	96	105	110	114							
				達成率	%	-	-	-	113.4%	102.7%							



指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	10	療育事業に継続参加した幼児・保護者の満足度	発達相談から療育事業につながった幼児の継続した療育事業終了時のアンケートで、「満足」「ほぼ満足」と回答した保護者の割合。	目標値 (単年)	%	-	-	-	80	85	90	95	100	① 順調	専門的スタッフによる親子通所療育、小集団療育を実施し、一人ひとりにきめ細かい支援を行った結果、療育事業終了時のアンケートで、「満足」と回答した保護者の割合が100%だった。発達支援を必要とされる幼児、保護者からのニーズは高いものと考え、今後もより一層療育の充実を図っていく。	こども発達支援センター	A
				実績値 (単年)	%	-	-	100	100	100							
				達成率	%	-	-	-	125.0%	117.6%							
KPI	11	鳥取市男女共同参画かがやき企業認定数	男女がともに働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組んでいると市が認定している当該年度末の企業数。	目標値 (単年)	件	-	-	-	39	47	50	53	55	② 概ね順調	令和3年度に目標値を上回ったため、目標値の再設定を行った。 改正育児・介護休業法が施行され、企業の努力が今後、一層求められている。 引き続き、働く場における女性活躍を推進することを目的に、男性の家事・育児の参加の促進、働き方の見直しなど企業の意識改革につなげるため、企業に対する啓発及び企業訪問を引き続き行う必要がある。	男女共同参画課	B
				実績値 (単年)	件	-	-	36	44	45							
				達成率	%	-	-	-	112.8%	95.7%							

【基本目標Ⅰ-2】ふるさとを愛する心豊かな人財を育むまちづくり

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
数値目標	12	地域や社会を良くするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合(小学校)	当該年度実施の「全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙調査」で、「地域や社会を良くするために何をすべきか考えることがある」と回答した割合。 ※義務教育学校は、前期課程と後期課程に分けて集計。	目標値(単年)	%	-	-	-	56.0	57.0	58.0	59.0	60.0	② 概ね 順調	「地域や社会を良くするために何をすべきか考えることがある」と回答した児童の割合は目標値に対して90%であり、概ね順調である。令和3年度とほぼ同様の達成率である。各小・義務教育学校で地域の人・もの・事と関わる学習を工夫して設定している成果であると考え。 今後も児童が体験や活動を通して地域について学んだり、貢献したりする機会を充実させ、自己有用感を感じられるようにすることで、地域を愛する気持ちを育てていく。	学校教育課	B
				実績値(単年)	%	45.7	46.4	調査なし	50.8	51.3							
				達成率	%	-	-	-	90.7%	90.0%							
数値目標	13	地域や社会を良くするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合(中学校)	当該年度実施の「全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙調査」で、「地域や社会を良くするために何をすべきか考えることがある」と回答した割合。 ※義務教育学校は、前期課程と後期課程に分けて集計。	目標値(単年)	%	-	-	-	41.0	42.0	43.0	44.0	45.0	① 順調	「地域や社会を良くするために何をすべきか考えることがある」と回答した生徒の割合は目標値に対して100%を超えており、目標を達成している。各中・義務教育学校で地域の人・もの・事と関わる学習を工夫して設定している成果であると考え。しかし、令和3年度と比較すると達成率がわずかに下がっており、コロナ禍で地域と関わる活動が思うように実施できなかった影響が少なからずあるのではないかとと思われる。 今後も生徒が体験や活動を通して地域について学んだり、貢献したりする機会を充実させ、自己有用感を感じられるようにすることで、地域を愛する気持ちを育てていく。	学校教育課	A
				実績値(単年)	%	38.8	42.0	調査なし	45.9	42.9							
				達成率	%	-	-	-	112.0%	102.1%							
数値目標	14	生涯学習講座の参加者の満足度	当該年度実施の生涯学習講座参加者アンケートで、受講内容について「大変満足」または「満足」と回答した参加者の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	85.0	87.0	88.0	89.0	90.0	① 順調	今後も、生涯学習講座を麒麟のまちアカデミーとして一体的に運営し、参加者のニーズを講座内容に反映させながら、講座内容の満足度の向上を図っていく。	生涯学習・スポーツ課	A
				実績値(単年)	%	-	83.0	57.0	83.3	92.0							
				達成率	%	-	-	-	98.0%	105.7%							

【重点施策】教育の充実・郷土愛の醸成

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	15	授業がよくわかると思う児童生徒の割合(小学校)	当該年度実施の「鳥取市共通10項目アンケート調査」で「授業がよくわかる」の質問に「あてはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した児童生徒の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	90.0	91.0	92.0	93.0	94.0	② 概ね 順調	「鳥取市共通10項目アンケート調査」で「授業がよくわかる」の質問に「あてはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した児童の割合は、平成30年度以降87%を上回っている。魅力と徹底の授業づくりを行っている成果であると考えられる。今後も、魅力と徹底の授業づくりを推進していく。	学校教育課	B
				実績値(単年)	%	87.5	88.2	88.8	88.8	87.1							
				達成率	%	-	-	-	98.7%	95.7%							
KPI	16	授業がよくわかると思う児童生徒の割合(中学校)	当該年度実施の「鳥取市共通10項目アンケート調査」で「授業がよくわかる」の質問に「あてはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した児童生徒の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	82.0	83.0	84.0	85.0	86.0	① 順調	「鳥取市共通10項目アンケート調査」で「授業がよくわかる」の質問に「あてはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した児童の割合は83%となり、過去最高となった。魅力と徹底の授業づくりを行っている成果であると考えられる。今後も、魅力と徹底の授業づくりを推進していく。	学校教育課	A
				実績値(単年)	%	80.0	80.2	81.1	82.9	83.0							
				達成率	%	-	-	-	101.1%	100.0%							
KPI	17	学校が楽しいと思う児童生徒の割合(小学校)	当該年度実施の「鳥取市共通10項目アンケート調査」で「学校が楽しい」の質問に「あてはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	90.0	91.0	92.0	93.0	94.0	② 概ね 順調	「鳥取市共通10項目アンケート調査」で「学校が楽しい」の質問に「あてはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した児童の割合は、89.5%で概ね順調である。今後も、特色ある学校づくり、魅力ある授業づくりを推進していく。	学校教育課	B
				実績値(単年)	%	89.5	87.8	89.1	89.5	89.5							
				達成率	%	-	-	-	99.4%	98.4%							
KPI	18	学校が楽しいと思う児童生徒の割合(中学校)	当該年度実施の「鳥取市共通10項目アンケート調査」で「学校が楽しい」の質問に「あてはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	89.0	90.0	91.0	92.0	93.0	② 概ね 順調	「鳥取市共通10項目アンケート調査」で「学校が楽しい」の質問に「あてはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した生徒の割合は、89.7%で概ね順調である。今後も、特色ある学校づくり、魅力ある授業づくりを推進していく。	学校教育課	B
				実績値(単年)	%	86.9	88.3	89.3	87.5	89.7							
				達成率	%	-	-	-	98.3%	99.7%							

【重点施策】生涯学習の推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	19	地区公民館事業の取組評価	当該年度実施の地区公民館事業自己評価において、中程度より高いと回答した事業の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	-	100	100	100	100	① 順調	令和4年度より、生涯学習事業実績報告に「生涯学習事業自己評価・点検シート」による自己評価を実施した。自己評価による実施事業内容の振り返りを行うことにより、次年度事業の取組に反映させていきたい。	生涯学習・スポーツ課	A
				実績値(単年)	%	-	-	-	-	100							
				達成率	%	-	-	-	-	100.0%							
KPI	20	地区公民館への専門職員の配置割合	当該年度末の社会教育士または社会教育主事任用資格を持つ者が配置された地区公民館の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	15.0	20.0	30.0	35.0	40.0	③ やや遅延	資格取得に1か月間の講習を受講する必要があり、地区公民館業務と調整しながら参加することとなるため取得が進んでいない。資格取得が行いやすくなるよう、勤務条件の整備を行いながら、引き続き取得を促進していきたい。	生涯学習・スポーツ課	C
				実績値(単年)	%	-	12.0	12.0	12.0	13.0							
				達成率	%	-	-	-	80.0%	65.0%							
KPI	21	地域学校協働本部の設置数	地域学校協働本部を設置した当該年度末の小・中・義務教育学校区数。	目標値(単年)	校区	-	-	-	10	14	14	30	43	④ 遅延	地域学校協働活動推進事業については、本事業の重要性が各小・中・義務教育学校へ認知され、年々実施検討する学校も増えてきており、順調に推進員を設置した取り組み増加につながっている。 「地域学校協働本部」の設置にあたっては、取組の継続により協力者、協力団体を広げていく必要があることから、今後、学校運営協議会や推進員の地域学校協働活動に係る支援について、「鳥取市学校運営協議会連絡会兼鳥取市コミュニティ・スクール、地域学校協働活動推進研修会」、「地域学校協働活動推進員連絡会」等を通じて、先行して本部を設置した事例を学びながら、各地域での本部設置の取り組みを支援し、本部設置校の拡大につなげていく。	生涯学習・スポーツ課	D
				実績値(単年)	校区	-	1	1	3	5							
				達成率	%	-	-	-	30.0%	35.7%							

【柱Ⅱ】誰もが活躍できるしごとづくり

【基本目標Ⅱ-1】稼ぐ地域・仕事と安定した雇用環境づくり

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
数値目標	22	就業者1人あたりの市内GDP	就業者1人あたりの当該年度の市町村内総生産(名目)の本市の値。	目標値(単年)	千円	-	6,800	6,970	7,140	7,310	7,478			② 概ね 順調	県全体において、製造業、運輸・郵便業、宿泊・飲食サービス業が特に新型コロナウイルス感染症の影響などにより、影響を受けており、本市も同様の傾向にある。 就業者1人あたりの市内GDPを増加させるためには市内総生産額を増加させるとともに、就業者一人ひとりが効率的に付加価値を作り出すことが必要であり、労働生産性向上に繋がる施策とともに、GX(グリーントランスフォーメーション)、DX(デジタルトランスフォーメーション)等の新たな取り組みを推進していく。	経済・雇用戦略課	B
				実績値(単年)	千円	6,710	調査未実施	6381									
				達成率	%	-	-	91.5%									
数値目標	23	大学生県内就職率	当該年度の県内2大学(学部卒)の全就職内定者のうち県内就職内定率。	目標値(単年)	%	-	-	-	25.0	25.8	26.6	27.4	28.2	② 概ね 順調	令和4年度の県内就職内定率は21.3%と前年度に比較して3.6ポイント上昇した。増加の要因は、市・県・大学が行ってきた学生の県内就職に向けた取組やキャリア教育の効果が出たものとする。今後も、企業見学会の開催や、市内企業情報を発信することにより、県内就職促進を図るよう取り組んでいく。	経済・雇用戦略課	B
				実績値(単年)	%	23.4		17.2	17.7	21.3							
				達成率	%	-	-	-	70.8%	82.6%							
数値目標	24	市内製造品出荷額等	当該年の工業統計調査(経済産業省)による製造品出荷額等の本市の値。	目標値(単年)	億円	-	2,726	2,617	2,669	2,749	2,867			① 順調	コロナ禍の全国的な経済停滞の影響により地元製造業の受注量は減少し、指標実績値は低調が続いていると考えられる。アフターコロナにおける経済情勢や企業ニーズに対応した支援策にシフトさせながら積極的な企業支援を行っていく。	企業立地・支援課	B
				実績値(単年)	億円	2,811	2,707	2,649									
				達成率	%	-	99.3%	101.2%									
数値目標	25	市内事業所数	当該年の経済センサス(基礎・活動)調査における事業所数の本市の値。	目標値(単年)	件	-	-	-	8,882	-	-	9,018	-	② 概ね 順調	コロナ禍による地域経済の停滞により、市内事業所数は減少していると思われる。アフターコロナにおける企業支援の施策を検討し、事業所数の回帰を図る。	企業立地・支援課	B
				実績値(単年)	件	-	9,996	-	8,537	-	-	-					
				達成率	%	-	-	-	96.1%	-	-	-					
数値目標	26	市内農業産出額	農林水産省が生産農業所得統計により推計した当該年の市町村別農業産出額の本市の値。	目標値(単年)	億円	-	-	130	130	136	143	150		① 順調	令和3年度は目標を達成しているが、新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢等国際情勢の影響による、米価の下落や燃油、物価の高騰が本市の農業にも影響を及ぼしていることから、県や東部4町、JA等の関係機関と連携して、「鳥取県農業生産1千億達成プラン」や「産地プロジェクト」を進めるとともに、経費削減や農業所得向上に資する支援策をより一層強化していくことが必要と考える。	農政企画課	A
				実績値(単年)	億円	129	152	152	140								
				達成率	%	-	-	116.9%	107.7%								

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
数値目標	27	市内木材搬出量	当該年度の林業経営体の経営計画に基づく市内の間伐木材搬出量。	目標値(単年)	m	-	-	-	43,303	45,478	47,652	49,826	52,000	③ やや遅延	樹木の成長には間伐による森林整備が必要であるが、伐期を迎えた森林が多くなってきており、間伐から主伐への方針転換が進み間伐木材搬出量が減少している。 今後も継続して間伐に対する支援を行いながら、主伐に対する支援の検討も行う必要があると考える。	林務水産課	C
				実績値(単年)	m	-	38,955	39,381	34,015	33,309							
				達成率	%	-	-	-	78.6%	73.2%							
数値目標	28	市内漁獲量	当該年の海水面漁業の市内漁獲量。	目標値(単年)	t	-	-	-	2,203	2,203	2,203	2,203	2,203	② 概ね順調	漁獲量はやや減少傾向であるが、達成率は概ね順調であった。 今後も担い手の確保・育成に努め、漁獲量の維持に取り組んでいく。	林務水産課	B
				実績値(単年)	t	-	2,203	2,127	1,968	1,793							
				達成率	%	-	-	-	89.3%	81.4%							

【重点施策】持続可能な経済成長の実現

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	29	補助事業(所得向上メニュー)指定企業における投下固定資産額の累計	R3~7年度の立地促進補助金(所得向上メニュー)指定企業の計画投下固定資産額の累計。	目標値(単年)	千円	-	-	-	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	④ 遅延	コロナ禍に加え、円安、物価高騰など不安定な経済情勢の中、従業員の所得向上に踏み出せない地元企業が多かったと考える。 経済情勢を把握し、企業が必要とする支援策を検討しながら実施していく。	企業立地・支援課	D
				目標値(累計)	千円	-	-	-	200,000	400,000	600,000	800,000	1,000,000				
				実績値(単年)	千円	-	177,000	0	0	142,000							
				実績値(累計)	千円	-	-	-	0	142,000							
				達成率	%	-	-	-	0.0%	35.5%							
KPI	30	市公式インターネットショップ「とっとり市」の売上金額の累計	R3~7年度のインターネットショップの売上金額の累計。	目標値(単年)	千円	-	-	-	26,692	32,030	38,436	46,124	55,349	① 順調	令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策の臨時交付金を活用したキャンペーンを実施したことにより売上は伸長した。令和5年度にはキャンペーンの予定はないことから、恒常的な売上伸長に向けた施策を検討する必要がある。	経済・雇用戦略課	A
				目標値(累計)	千円	-	-	-	26,692	143,435	181,871	227,996	283,344				
				実績値(単年)	千円	-	23,210	63,616	111,405	114,687							
				実績値(累計)	千円	-	-	-	111,405	226,092							
				達成率	%	-	-	-	417.4%	157.6%							

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)	
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)			
KPI	31	留学生地域就労支援事業でのインターンシップ参加者の市内就職者数の累計	R3～7年度のインターンシップ参加者のうち、市内に就業した人数の累計。	目標値(単年)	人	-	-	-	2	2	2	2	2	2	④ 遅延	インターンシップをオンデマンド形式に変更し、2名の参加があったものの、市内就業には至っていない。市内企業の実情を確認しながら、留学生と企業のマッチング方法を検討する必要がある。	経済・雇用戦略課	D
				目標値(累計)	人	-	-	-	2	4	6	8	10					
				実績値(単年)	人	-	2	0	0	0								
				実績値(累計)	人	-	-	-	0	0								
				達成率	%	-	-	-	0.0%	0.0%								
KPI	32	市内企業への就職を前提とした市内の日本語学校入学者数の累計	R3～7年度の市内企業への就職を前提とした市内の日本語学校入学者数の累計。	目標値(単年)	人	-	-	-	10	10	10	10	10	10	① 順調	コロナによる水際対策で令和3年度入学予定の学生が令和4年度入学にすれ込んだため、令和4年度実績は2か年分の累計となる。今後も市内企業の人材確保を推進するため、内容を検討しながら、日本語学校の支援を行っていく。	企業立地・支援課	A
				目標値(累計)	人	-	-	-	10	20	30	40	50					
				実績値(単年)	人	-	10	9	0	22								
				実績値(累計)	人	-	-	-	0	22								
				達成率	%	-	-	-	0.0%	110.0%								
KPI	33	まちづくり投融資制度(投資・融資)の活用実績額の累計	R3～4年度のまちづくり投融資制度を活用した企業・創業に係る投資・融資の活用実績の合計額の累計。	目標値(単年)	千円	-	-	-	97,000	97,000	-	-	-	-	④ 遅延	コロナ対策の金融制度が充実していた背景があり、指標実績値は低調が続いた。コロナ向け資金の取扱終了後も、要件に合致する創業希望者の発掘には至らず、幅広く制度を周知させることと、利用しやすい制度へ改定することの必要性が浮き彫りとなった。関係各所と連携し、制度の改定や取扱期間の延長を実施し、市内における起業創業を支援していく。	企業立地・支援課	D
				目標値(累計)	千円	-	-	-	97,000	194,000	-	-	-					
				実績値(単年)	千円	-	72,000	54,000	0	0								
				実績値(累計)	千円	-	-	-	0	0								
				達成率	%	-	-	-	0.0%	0.0%								
KPI	34	第三者承継補助金交付企業数の累計	R3～7年度の第三者承継を行うため専門家に相談する企業に対する補助金交付件数の累計。	目標値(単年)	社	-	-	-	10	10	10	10	10	10	④ 遅延	制度内容の周知不足や市内に事業承継に関する支援機関が少ないことなどから、本補助金の活用までには至らなかったのではないかと推測する。しかしながら、鳥取県の後継者不在率は71.5%と高く、本市内においても潜在的に支援を必要とする事業者は多いと考えられる。事業者にとってよりメリットの大きい支援策を検討し、関係各所と連携し制度周知を図る。	企業立地・支援課	D
				目標値(累計)	社	-	-	-	10	20	30	40	50					
				実績値(単年)	社	-	-	5	4	1								
				実績値(累計)	社	-	-	-	4	5								
				達成率	%	-	-	-	40.0%	25.0%								
KPI	35	農商工連携マッチング支援事業者数の累計	R3～7年度の農商工連携マッチング委託事業における支援事業者数の累計。	目標値(単年)	件	-	-	-	25	25	25	25	25	25	② 概ね順調	令和3年度に引き続き、コロナ禍により県外への営業活動や商談会にも制約がある中、オンラインでの合理化を図りながら伴走支援し、単年度実績をおおむね達成することができた。今後も委託先と連携を取りながら、更なるマッチング支援を推進する。	企業立地・支援課	B
				目標値(累計)	件	-	-	-	25	50	75	100	125					
				実績値(単年)	件	-	25	29	24	25								
				実績値(累計)	件	-	-	-	24	49								
				達成率	%	-	-	-	96.0%	98.0%								

【重点施策】工業の振興

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	36	補助事業指定企業における投下固定資産額の累計	R3～7年度の立地促進補助金指定企業の計画投下固定資産額の累計。	目標値(単年)	億円	-	-	-	50	50	50	50	50	④ 遅延	コロナ禍以降、急速な円安や原材料価格高騰などのあおりを受け、企業の設備投資計画にも変更が生じたものとみられる。投資計画の見送りやコストダウンの推進等により実績値は伸び悩んだと推測される。経済情勢が不安定になりながらも雇用維持や生産性向上を図る企業の支援を継続するため、支援メニューの見直しを図りながら設備投資を支援していく。	企業立地・支援課	D
				目標値(累計)	億円	-	-	-	50	100	150	200	250				
				実績値(単年)	億円	-	50.2	169.5	35.7	19.4							
				実績値(累計)	億円	-	-	-	35.7	55.1							
				達成率	%	-	-	-	71.4%	55.1%							
KPI	37	産学官連携による新技術開発事業活用件数の累計	R3～7年度の鳥取市産学官連携地域経済活性化事業補助金活用件数の累計。	目標値(単年)	件	-	-	-	1	1	1	1	1	④ 遅延	近年、国・県の補助制度が充実しているため、本市では令和元年度より補助実績がない。令和5年度については事業を一旦廃止することとし、新たな施策の有り方について検討する。	経済・雇用戦略課	D
				目標値(累計)	件	-	-	-	1	2	3	4	5				
				実績値(単年)	件	-	0	0	0	0							
				実績値(累計)	件	-	-	-	0	0							
				達成率	%	-	-	-	0%	0.0%							
KPI	38	鳥取市国際経済発展協議会の地元企業海外進出等に対する支援の累計件数	R3～7年度の鳥取市国際経済発展協議会における地元企業の貿易相談等、マッチング支援件数の累計。	目標値(単年)	件	-	-	-	177	177	177	177	177	③ やや遅延	コロナ禍の影響により海外展開を視野にいられた取組みを積極的に行うことが困難な情勢であったこともあり、単年目標値(177件)に対して実績値は65%程度(116件)にとどまった。コロナによる行動制限がなくなり、海外との貿易も活発化している中で、積極的に地元企業への働きかけを行う必要がある。	経済・雇用戦略課	C
				目標値(累計)	件	-	-	-	177	354	531	708	885				
				実績値(単年)	件	-	161	151	103	116							
				実績値(累計)	件	-	-	-	103	219							
				達成率	%	-	-	-	58.2%	61.9%							



【重点施策】商業とサービス業等の振興

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	39	新規のオフィス設置数(市関与分)の累計	R3~7年度の市が関与した県外からのオフィスの新築・移転件数の累計。	目標値(単年)	件	-	-	-	2	2	2	2	2	④ 遅延	コロナのまん延により県外での企業誘致活動などが制限され、PRの機会が減ったことにより実績値は伸び悩んだとみられる。アフターコロナにおいては県外への営業活動も再開し、制度内容の情報発信等を積極的に行い、本市へのオフィス移転の促進を図る。	企業立地・支援課	D
				目標値(累計)	件	-	-	-	2	4	6	8	10				
				実績値(単年)	件	-	0	1	1	1							
				実績値(累計)	件	-	-	-	1	2							
				達成率	%	-	-	-	50.0%	50.0%							
KPI	40	「鳥取市ふるさと物産館」等の売上金額の累計	R3~7年度の鳥取市ふるさと物産館の売上金額を含む観光コンベンション協会の物産部門での売上金額の累計。	目標値(単年)	千円	-	-	-	30,774	30,775	30,774	30,775	30,789	② 概ね 順調	コロナ禍の影響により、旅行者メインの対人による店頭販売は伸び悩んだものの、インターネット販売が伸ばしたことから、単年度目標を概ね達成することができた。今後も、アフターコロナに対応し、コロナ禍で強化したインターネットによる販売、店頭や出展による販売の取組みを効率的に実施することで、売上ベースの伸長を図っていくことが必要である。	経済・雇用戦略課	B
				目標値(累計)	千円	-	-	-	30,774	61,549	92,323	123,098	153,887				
				実績値(単年)	千円	-	38,908	30,484	27,741	30,533							
				実績値(累計)	千円	-	-	-	27,741	58,274							
				達成率	%	-	-	-	90.1%	94.7%							
KPI	41	麒麟のまち関西情報発信拠点での売上金額の累計	R3~7年度の麒麟のまち関西情報発信拠点の飲食及び物販の売上金額の累計。	目標値(単年)	千円	-	-	-	77,026	77,025	77,026	77,025	77,026	④ 遅延	関西地域では、特にコロナ禍で店舗の休業要請などがあったため、通常おりの事業推進は困難な状況であったことから、単年目標値(77,025千円)に対して実績値は約半分(44,054千円)にとどまった。アフターコロナを踏まえ、麒麟のまち圏域の各町と連携し、本施設の魅力を高め、売上金額をコロナ前の水準まで回復させる。	経済・雇用戦略課	C
				目標値(累計)	千円	-	-	-	77,026	154,051	231,077	308,102	385,128				
				実績値(単年)	千円	-	72,703	36,024	30,153	44,054							
				実績値(累計)	千円	-	-	-	30,153	74,207							
				達成率	%	-	-	-	39.1%	48.2%							
KPI	42	市公設地方卸売市場の取扱高の累計	R3~7年度の市公設地方卸売市場の卸売業者4社の売上金額の累計。	目標値(単年)	千円	-	-	-	7,340,755	7,340,755	7,340,755	7,340,755	7,340,755	② 概ね 順調	令和元年度水準(7,340,755千円)の維持を目標とする市場施設の再整備事業(令和7年度末供用開始)を令和4年度に設計施工一括で発注し、令和4年度に基本設計及び一部棟の実施設計を計画とおり実行したが、ハード面の整備はこれからでありコロナの影響も相まって低い実績(6,978,902千円)にとどまった。計画を実行することに併せ、ソフト面の強化に向けた新たな施策を検討することが必要である。	経済・雇用戦略課	B
				目標値(累計)	千円	-	-	-	7,340,755	14,681,510	22,022,265	29,363,020	36,703,775				
				実績値(単年)	千円	-	7,340,755	7,470,724	7,145,773	6,978,902							
				実績値(累計)	千円	-	-	-	7,145,773	14,124,675							
				達成率	%	-	-	-	97.3%	96.2%							

【重点施策】農林水産業の成長産業化

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	43	市内の新規農業担い手数の累計	R3～7年度の市内の新規就農者、認定農業者の新規認定件数及び農業生産法人、集落営農組織などの新規設立件数の累計。	目標値(単年)	件	-	-	-	14	14	14	14	14	③ やや遅延	認定新規就農者や認定農業者を目指す方が少なかったため、目標を下回った。今後、意欲ある新規就農希望者、規模拡大を目指す農業者、集落営農組織を計画している集落への支援を行い、担い手の確保を図る。	農政企画課	C
				目標値(累計)	件	-	-	-	14	28	42	56	70				
				実績値(単年)	件	-	10	7	13	8							
				実績値(累計)	件	-	-	-	13	21							
				達成率	%	-	-	-	92.9%	75.0%							
KPI	44	市内の新規林業従事者数の累計	R3～7年度の市の研修事業実施に伴う市内の新規林業就業者数の累計。	目標値(単年)	人	-	-	-	6	6	6	6	6	① 順調	新規就業者数は目標を達成しているものの、林業労働者の高齢化、担い手不足は進んでいる。林業労働者の福祉向上、労働条件の改善を図りながら、担い手の育成を促進するため、継続して実施する。	林務水産課	A
				目標値(累計)	人	-	-	-	6	12	18	24	30				
				実績値(単年)	人	-	6	3	7	10							
				実績値(累計)	人	-	-	-	7	17							
				達成率	%	-	-	-	116.7%	141.7%							
KPI	45	市内の新規漁業就業者数の累計	R3～7年度の市内の新規漁業就業者数の累計。	目標値(単年)	人	-	-	-	3	2	1	2	1	④ 遅延	新規就業を目指し4名が研修を行っていたが、体調不良等により3人が研修中止となり新規就業者は1人となった。今後も研修事業に要する経費を支援し、減少傾向にある担い手の確保・育成に取り組んでいく。	林務水産課	D
				目標値(累計)	人	-	-	-	3	5	6	8	9				
				実績値(単年)	人	-	0	1	1	1							
				実績値(累計)	人	-	-	-	1	2							
				達成率	%	-	-	-	33.3%	40.0%							
KPI	46	市戦略作物の出荷量	当該年度の戦略作物のうち、3種(アスパラガス、ブロックリー、生姜)の出荷量。	目標値(単年)	t	-	-	-	45	46	48	50	53	③ やや遅延	研修会や指導会等による技術対策の徹底により品質向上と安定生産に努める。特にアスパラガスについては、JA鳥取いなばと連携して鳥取型低コストハウスによる施設化を推進するなど、より収益率の高い作付体系への転換を図る。	農政企画課	C
				実績値(単年)	t	-	45	34	35	36							
				達成率	%	-	-	-	77.8%	78.3%							
KPI	47	キジハタ漁獲量	当該年のキジハタ漁獲量。	目標値(単年)	t	-	-	-	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	④ 遅延	コロナの影響により外食需要が減少したため漁獲量が縮小したものと考えている。アフターコロナを見据え今後も稚魚放流を支援し、減少傾向にある漁獲量の維持に取り組んでいく。	林務水産課	D
				実績値(単年)	t	-	4.9	5.1	3.5	2.8							
				達成率	%	-	-	-	71.4%	57.1%							
KPI	48	担い手農家への農地集積率	R7年度の担い手農家への農地集積面積の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	26.3	29.7	33.1	36.5	40.0	③ やや遅延	担い手農家の減少や農業経営の規模を拡大する農業者が少なかったため、目標を下回った。今後、新規就農者や意欲ある農業者への農地集積に引き続き取り組んでいく。	農政企画課	C
				実績値(単年)	%	24.5	23.4	22.9	22.2	22.6							
				達成率	%	-	-	-	84.4%	76.1%							

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	49	森林経営計画等作成面積	当該年度の本市の森林経営計画及び経営管理集積計画作成面積。	目標値(単年)	千ha	-	-	-	10	11	12	13	14	① 順調	森林は植林から伐採まで長期に時間を要するため、計画的な施業が必要となる。また、効率的な森林施業を行うには、一定規模の森林面積が必要であり、森林の集約化のためにも森林経営計画の作成は必要である。森林経営管理法(平成30年制定)に基づく森林経営管理制度(新たな森林管理システム)の推進とともに継続して実施する。	林務水産課	A
				実績値(単年)	千ha	-	9	10	11	11							
				達成率	%	-	-	-	110.0%	100.0%							
KPI	50	農畜産物の販路拡大マッチング件数	R3~7年度の生産者とバイヤー等消費者との農畜産物の商談成立件数(市関与分)の累計。	目標値(単年)	件	-	-	-	6	6	6	6	6	① 順調	商談会を31回開催し、目標を上回る15件の商談成立となった。 引き続き、地域商社とっとり等と連携した商談会の開催や催事等への出展等により新たな販路開拓を行うとともに、今後は首都圏への展開や事業で得た関西圏等のニーズを産地にフィードバックし、産地化への取組を更に推進していく。	農政企画課	A
				目標値(累計)	件	-	-	-	6	12	18	24	30				
				実績値(単年)	件	-	7	7	10	15							
				実績値(累計)	件	-	-	-	10	25							
				達成率	%	-	-	-	166.7%	208.3%							
KPI	51	6次産業化取組支援件数の累計	R3~7年度の6次産業化の取組に対する支援件数の累計。	目標値(単年)	件	-	-	-	1	1	1	1	1	① 順調	6次産業化に取り組む事業者支援を2件実施し、農業者の所得向上と地域経済の活性化につなげることができた。引き続き、県・金融機関・商工団体等と連携し、所得向上に有効な6次産業化を推進していく。	農政企画課	A
				目標値(累計)	件	-	-	-	1	2	3	4	5				
				実績値(単年)	件	-	0	2	4	2							
				実績値(累計)	件	-	-	-	4	6							
				達成率	%	-	-	-	400.0%	300.0%							
KPI	52	多面的機能支払交付金対象の農用地面積の割合	当該年度末の農業振興地域内の農用地面積に占める多面的機能支払交付金対象の農用地面積の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	50.0	51.0	52.0	53.0	54.0	① 順調	農業振興地域内に占める交付金対象農地の割合は年次的に増加しており、令和4年度は53.7%と目標を上回る数値となった。本事業に取り組む活動組織の増加が主要要因としてあげられるが、令和6年度には本事業に取り組んでいる6割近くが更新の時期となり、組織数及び農用地面積の減少が懸念されている。 各組織の課題を踏まえ長期的に取り組める体制を支援することで農業・農村の多面的機能を確保していく。	農村整備課	A
				実績値(単年)	%	-	49.2	49.2	50.2	53.7							
				達成率	%	-	-	-	100.4%	105.3%							
KPI	53	スマート農業支援件数の累計	R3~7年度の先進技術の導入・実証などの取組への支援件数の累計。	目標値(単年)	件	-	-	-	2	15	7	3	3	② 概ね順調	農業者の高齢化等による担い手の減少や耕作放棄地の増加等が進んでおり、持続可能な農業を実現するための方策として、省力化技術の開発・導入が喫緊の課題となっているため、技術伝承や、環境予測等のシステム導入を行う農業者を積極的に支援する必要がある。	農政企画課	B
				目標値(累計)	件	-	-	-	2	17	24	27	30				
				実績値(単年)	件	-	2	35	7	9							
				実績値(累計)	件	-	-	-	7	16							
				達成率	%	-	-	-	350.0%	94.1%							

【柱Ⅲ】にぎわいにあふれ安心して暮らせるまちづくり

【基本目標Ⅲ-1】都市部等とのつながりを築き、人が行きかうまちづくり

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
数値目標	54	移住定住者数	R3～7年度に本市に移住した人数の累計。	目標値(単年)	人	-	-	-	480	480	480	480	480	② 概ね 順調	目標値には届かないものの、昨年度並みの324世帯458人の移住定住者があった。世帯主の年齢層は20代～40代が約80%であり、主に若者・子育て世代が占めている。また、各種SNSや令和4年度より運営開始した移住定住専用ポータルサイトでの情報発信による効果もあり、単年度の移住相談登録者数も前年度より119人増加している。 今後も、情報発信や丁寧な相談対応に努めるとともに、ワーケーション事業等の県外企業に働きかける取組、市内高校生や県外に進学した学生に対する取組など、各部局の事業と連携を取りながら、様々なチャンネルを通じて移住定住を促進していきたい。	地域振興課	B
				目標値(累計)	人	-	-	-	480	960	1440	1920	2400				
				実績値(単年)	人	-	359	389	462	458							
				実績値(累計)	人	-	-	-	462	920							
				達成率	%	-	-	-	96.3%	95.8%							
数値目標	55	観光入込客数	県が発表する「鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺」の年間観光入込客数。	目標値(単年)	万人	-	-	-	300.0	302.5	305.0	307.5	310.0	② 概ね 順調	年間観光入込客数は、コロナ禍以前の水準までは回復していないが前年度に比べ増加した。今後もコロナ禍からの復興・再生に向け、観光資源の磨き上げや情報発信の強化、受入環境の整備等を行い、滞在型観光の推進に取り組む。	観光・シオパーク推進課	B
				実績値(単年)	万人	-	295.0	170.0	187.0	243.0							
				達成率	%	-	-	-	62.3%	80.3%							
数値目標	56	市民愛着度	当該年度実施の市民アンケート調査において、「本市に愛着や親しみを感じている」と回答した市民の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	-	-	-	65.0	-	⑤ 評価 対象 外	令和6年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。 様々な手法の情報発信により市民のシティプライドを醸成し、市民の鳥取市への愛着度の向上につなげてきたが、これまでの取組を踏まえながら、引き続き市民愛着度の向上・深化につながる効果的な取組を検討する。	政策企画課	評価 対象 外
				実績値(単年)	%	-	61.5	-	-	-	-	-	-				
				達成率	%	-	-	-	-	-	-	-	-				
数値目標	57	地域魅力度	ブランド総合研究所が行う当該年の地域ブランド調査結果	目標値(単年)	位	-	-	-	154	140	127	113	100	⑥ 未達 成	地域魅力度の順位は昨年度より上昇したものの、目標順位には到達しなかった。引き続き、庁内全体におけるシティセールス関連事業の取組状況を分析し、本市の魅力の向上・浸透につながるようシティセールスの視点を踏まえた施策の推進を図る。	政策企画課	C
				実績値(単年)	位	-	181	187	218	171							
				達成率	-	-	-	-	未達成	未達成							
数値目標	58	麒麟のまち圏域の人口	麒麟のまち圏域構成市町の当該年の国勢調査人口の合計値。 ※「現状値」は、県が発表する構成市町の10月1日の推計人口の合計値。	目標値(単年)	人	-	-	-	251,631	249,914	248,197	246,480	244,763	② 概ね 順調	達成率が昨年度実績より若干下がっている。令和5年度から開始した「第2期因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏ビジョン」に基づき、圏域市町で連携して取組を進めることで、人口減少・少子高齢社会にあっても、持続可能で魅力ある圏域の形成・発展に取り組む。 ※R4実績値は、県が発表するR4年10月1日の推計人口の合計値。	政策企画課	B
				実績値(単年)	人	-	255,065	253,874	251,109	248,626							
				達成率	%	-	-	-	99.8%	99.5%							

【重点施策】ふるさと・いなか回帰の促進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	59	移住相談登録者数	本市への移住に向けて相談員によるサポートを希望するために相談登録を行った当該年度の人数。	目標値(単年)	人	-	-	-	200	250	320	400	500	① 順調	単年度の移住相談登録者数は前年度より119人増加し、目標を上回った。これは、各種SNSや令和4年度より運営開始した移住定住専用ポータルサイトでの情報発信が寄与したものと考えられる。 来年度以降の高い目標値の達成に向けては、関係機関や他部局の取組に係る情報収集に努めるとともに、体験事業など本市の魅力を直接伝える取組の実施も検討していく。	地域振興課	A
				実績値(単年)	人	-	449	223	168	287							
				達成率	%	-	-	-	84.0%	114.8%							
KPI	60	中山間地域における空き家登録件数の累計	R3～7年度の移住希望者等が賃貸又は購入できる物件の登録件数の累計。	目標値(単年)	件	-	-	-	10	10	10	10	10	② 概ね順調	昨年度と同数の空き家登録件数となり、目標値には届かないものの概ね順調であった。 中山間地域の空き家利活用は、地域団体等と連携して実施しているが、地域は空き家と捉えていても、物件所有者は空き家と考えていない場合や、空き家と認識しているが急いで対応する必要はないと考えている場合がある。さらには、活用できそうな状態の良い空き家でも所有者が不明というものもあり、様々な要因で登録が進んでいない。 今後は、空き家の利活用啓発や法に基づく固定資産税の納税者情報の活用を図りつつ、引き続き、地域団体等と連携した取組を行っていく。	地域振興課	B
				目標値(累計)	件	-	-	-	10	20	30	40	50				
				実績値(単年)	件	-	9	17	9	9							
				実績値(累計)	件	-	-	-	9	18							
				達成率	%	-	-	-	90.0%	90.0%							
KPI	61	魅力ある民泊に向けた取組団体数	R3～7年度の中山間地域魅力ある民泊推進事業の補助団体の累計。	目標値(単年)	団体	-	-	-	1	1	1	2	2	④ 遅延	当初1事業者への補助の予定があったがコロナ禍のため事業を断念された。そのため令和4年度実績が0となった。 今後事業者に対し、本事業の周知を再度行い、より多くの民泊施設整備につなげていく。	地域振興課	D
				目標値(累計)	団体	-	-	-	1	2	3	5	7				
				実績値(単年)	団体	-	1	0	1	0							
				実績値(累計)	団体	-	-	-	1	1							
				達成率	%	-	-	-	100.0%	50.0%							
KPI	62	関係人口拡大に取り組む団体の数	R3～7年度の関係人口拡大にむけた取組を実施する団体等の累計。	目標値(単年)	団体	-	-	-	1	2	2	1	1	① 順調	既存の団体による取組は継続して行われているものの、コロナ禍による閉塞感もあり、令和4年度に新たに取組む団体は0であった。今後は、既存団体の取組事例をより幅広く地域に周知するなどして、新たに取組む団体の開拓に努める。	地域振興課	B
				目標値(累計)	団体	-	-	-	1	3	5	6	7				
				実績値(単年)	団体	-	1	1	3	0							
				実績値(累計)	団体	-	-	-	3	3							
				達成率	%	-	-	-	300.0%	100.0%							

【重点施策】滞在型観光の推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	63	観光入込客数(再掲)	県が発表する「鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺」の年間観光入込客数。	目標値(単年)	万人	-	-	-	300	302.5	305	307.5	310	② 概ね 順調	年間観光入込客数は、コロナ禍以前の水準までは回復していないが前年度に比べ増加した。今後もコロナ禍からの復興・再生に向け、観光資源の磨き上げや情報発信の強化、受入環境の整備等を行い、滞在型観光の推進に取り組む。	観光・シオパーク推進課	B
				実績値(単年)	万人	-	295	170	187	243							
				達成率	%	-	-	-	62.3%	80.3%							
KPI	64	外国人宿泊者数	市内の主要宿泊施設の年間外国人宿泊者数。	目標値(単年)	人	-	-	-	33,800	34,100	34,400	34,700	35,000	④ 遅延	新型コロナウイルスの影響が長引く中、インバウンド需要はコロナ前までは戻っていないが、アフターコロナを見据えたプロモーションに継続して取り組んだことで、主に東アジア圏からのインバウンド需要回復が見られた。 今後もアフターコロナのインバウンド需要回復を目指し、受入れ体制の整備等を進める。	観光・シオパーク推進課	D
				実績値(単年)	人	-	33,041	2,766	1,118	5,318							
				達成率	%	-	-	-	3.3%	15.6%							

【重点施策】シティセールスの推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	65	シティセールス取組評価値	当該年度実施の鳥取市LINEアンケート調査で「評価できる」「やや評価できる」と回答した市民の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	65.3	66.8	68.3	69.8	71.5	① 順調	目標は達成したものの、昨年度と比較し実績値が下がっている。SQアクションプランの策定・進捗管理やSQのあるまち職員研修をとおし職員のさらなる資質向上を図るとともに、これまで取り組んできた各種手法・情報発信を活かし、本市の魅力の向上・浸透につながるようシティセールスの視点を踏まえた施策の推進を図る。	政策企画課	A
				実績値(単年)	%	-	-	63.8	67.7	66.9							
				達成率	%	-	-	-	103.7%	100.1%							
KPI	66	市が管理する主なSNSのフォロワー数	当該年度末の市が管理する主なSNSのフォロワー数。	目標値(単年)	人	-	-	-	20,000	36,000	38,000	39,000	40,000	① 順調	令和4年度からLINEの配信機能(ごみの収集日配信、ユーザーが必要な情報を選択して受信可能となるセグメント配信等)を充実するとともにキャンペーン実施などにより登録者数の増加に取り組んだ。また、令和4年2月に開設した職員動画制作チーム特命係YouTubeチャンネルの配信を本格化させた。今後も、発信する情報内容やタイミング等に適したSNSを活用し、効果的な情報発信に努める。	秘書課 広報室	A
				実績値(単年)	人	-	-	20,655	25,060	40,923							
				達成率	%	-	-	-	125.3%	113.7%							

【重点施策】文化芸術によるまちづくりの推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	67	市内文化活動団体連合組織への加入団体数	市内文化活動団体連合組織の当該年度6月末の加盟団体数。	目標値(単年)	団体	-	-	-	203	203	203	203	203	② 概ね 順調	活動者の高齢化により団体数が減少していることを踏まえ、文化芸術活動の持続発展に向けて、新たな活動者の参入・発掘・育成を図る必要がある。 引き続き、文化団体や芸術家などと連携しつつ、補助制度による活動支援、次世代を対象とした芸術講座開催による人材育成、インターネットを通じた情報発信・普及啓発、文化施設の機能維持による活動・鑑賞環境整備などに取り組むことにより、文化芸術によるまちづくりの推進を図る。	文化交流課	B
				実績値(単年)	団体	-	-	203	199	194							
				達成率	%	-	-	-	98.0%	95.6%							
KPI	68	文化芸術鑑賞者数	鳥取市補助事業等による当該年度の観覧者数。	目標値(単年)	人	-	-	-	23,000	30,000	44,000	58,000	72,000	① 順調	新型コロナウイルス感染者数の減少に伴い、文化芸術活動がコロナ前に戻りつつある中、さらなる鑑賞者数の増加に向けて、市民の文化芸術に対する関心喚起や意識高揚を図る必要がある。 引き続き、文化団体や芸術家などと連携しつつ、インターネットを通じた情報発信・普及啓発、文化施設の機能維持による活動・鑑賞環境整備などに取り組むことにより、文化芸術によるまちづくりの推進を図る。	文化交流課	A
				実績値(単年)	人	-	61,280	22,930	23,969	47,995							
				達成率	%	-	-	-	104.2%	160.0%							

【重点施策】自治体間連携の推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	69	麒麟のまち圏域への観光入込客数	麒麟のまち圏域構成市町の年間観光入込客数。	目標値(単年)	万人	-	-	-	707	720	733	746	759	③ やや 遅延	令和4年度の麒麟のまち圏域の観光入込客数は、コロナ禍以前の水準までは回復していないが前年度に比べ増加した。今後は関西万博を見据えた誘客に取り組むとともに、関係6町と連携し、地域連携DMO「麒麟のまち観光局」の活動を支援しながら魅力ある観光地づくりを進める。	観光・シオパーク推進課	C
				実績値(単年)	万人	-	680.9	438.2	480.0	552							
				達成率	%	-	-	-	67.9%	76.7%							
KPI	70	麒麟のまち圏域への移住者数	麒麟のまち圏域構成市町のR3～7年度の移住者数の累計。	目標値(単年)	人	-	-	-	718	718	718	718	718	① 順調	圏域の移住者数は昨年度より減少したものの、目標値を上回ることができた。 令和4年度はアフターコロナを見据えた滞在型観光の推進による交流人口拡大に資する取組や関西情報発信拠点でのマルシェ・商談会の開催による圏域農産物のPRが行われた。直接的に移住者増に資する取組としては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の合間を縫って、東京・大阪での全国規模の対面による移住相談会への出展や移住セミナー・体験ツアーの実施を行った。 今後は、令和5年度から開始した「第2期因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏ビジョン」に基づく様々な分野の取組も活かしながら、引き続き、圏域市町で連携して移住促進に取り組んでいく。	地域振興課	A
				目標値(累計)	人	-	-	-	718	1,436	2,154	2,872	3,590				
				実績値(単年)	人	-	673	699	780	723							
				実績値(累計)	人	-	-	-	780	1,503							
				達成率	%	-	-	-	108.6%	104.7%							

【基本目標Ⅲ-2】快適で暮らしやすい魅力と活力あるまちづくり

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
数値目標	71	安全、迅速に移動できる幹線道路整備の市民満足度	当該年度実施の市民アンケート調査において、「満足」または「やや満足」と回答した市民の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	-	-	-	56.0	-	⑤ 評価対象外	令和6年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。 安全、迅速に移動できる幹線道路整備の推進のため、関係機関に対する要望活動、県道整備の費用負担、幹線市道の整備等に引き続き取り組んでいく。	都市企画課	評価対象外
				実績値(単年)	%	-	53.2	-	-	-	-	-					
				達成率	%	-	-	-	-	-	-	-					
数値目標	72	中心市街地の居住人口(社会増減数)	中心市街地の居住人口の社会増減数(転入者数-転出者数)の5年間(R3~7年度)の平均値。	目標値(単年)	人	-	-	-	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	① 達成	これまででも中心市街地での住まいの総合相談窓口の運営など、まちなか暮らしを促進するための様々な取り組みを行い、新型コロナウイルス感染症による影響を抑えてきたところだが、令和4年度は、63人の減少とマイナスに転じている。令和3年度から令和4年度の平均値は、2.5人/年のプラスとなっているが、子育て世代の若年層等にまちなかへと移住・定住してもらえるよう、居住環境の向上につながるような取り組みを強化していく。	まちなか未来創造課	A
				実績値(単年)	人	-	60	50	68	-63	-	-					
				実績値(平均)					68	2.5							
				達成率	-	-	-	-	達成	達成							
数値目標	73	小さな拠点の形成箇所数	地域住民自らが将来にわたり安心して暮らし続けることができる地域づくりに主体的に取り組む「小さな拠点」の当該年度末の形成箇所数。	目標値(単年)	箇所	-	-	-	2	2	3	3	4	① 順調	本事業の周知をさらに進めていくことが必要である。そのうえで、地域の実情を把握し、地域の実情に合った必要な事業を取り込み、住民が主体となった「小さな拠点」形成に向けて引き続き支援を行っていく。	地域振興課	A
				実績値(単年)	箇所	-	1	1	3	4							
				達成率	%	-	-	-	150.0%	200.0%							
数値目標	74	鉄道、バスなどの公共交通の利便性の満足度	当該年度実施の市民アンケート調査において、「満足」または「やや満足」と回答した市民の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	-	-	-	30.0	-	⑤ 評価対象外	令和6年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。 人口減少や自家用車への依存によって公共交通利用者が減少しており、公共交通事業者においても乗務員の人材不足や高齢化によって減便等が続くなど公共交通を取り巻く環境は厳しい状況にある。市民が安心して暮らせるようキャッシュレス化の推進や異なる交通手段をシームレスにつなぐ取組など市民が利用しやすい満足度の高い公共交通を目指す。	交通政策課	評価対象外
				実績値(単年)	%	-	22.2	-	-	-	-	-					
				達成率	%	-	-	-	-	-	-	-					
数値目標	75	インターネットやケーブルテレビの情報通信環境の満足度	当該年度実施の市民アンケート調査において、「満足」または「やや満足」と回答した市民の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	-	-	-	50.0	-	⑤ 評価対象外	令和6年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。 超高速インターネット接続環境が未提供の地域に対して、CATVによる光ファイバー網を整備することで、全市光化が実現となった。また、有線テレビジョン放送施設の老朽化及び高速化対応のため、他事業者による超高速インターネット整備エリアにおいても順次FTTH化を進めることで、市民サービスの充足を図る。	情報政策課	評価対象外
				実績値(単年)	%	-	39.5	-	-	-	-	-					
				達成率	%	-	-	-	-	-	-	-					



【重点施策】生活基盤の充実

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	76	高速道路整備に係る要望活動数	高速道路整備推進期成会による国・国会議員への当該年度の要望活動数。	目標値(単年)	回	-	-	-	4	4	4	4	4	① 順調	新型コロナウイルス感染症の影響により、対面による要望活動に制限がかかっていたが、機会をとらえ要望活動を行った。新型コロナウイルスが5類に移行したことから、今後は対面により要望活動・啓発活動を実施する。	都市企画課	A
				実績値(単年)	回	4	4	4	4	4							
				達成率	%	-	-	-	100.0%	100.0%							
KPI	77	協働による芝生化の箇所数	公園・公共空地を芝生化した当該年度の箇所数。	目標値(単年)	箇所	-	-	-	61	65	69	73	77	② 概ね順調	地域から申請が出された公園・公共空地での協働による芝生化は、概ね完了している状況のため、近年、実施箇所数が減少している傾向がある。今後は、申請されていない地域に対し鳥取市公園・スポーツ施設協会と連携を図りながら、芝生化の魅力を発信し、芝生化の促進を図っていく。	都市環境課	B
				実績値(単年)	箇所	-	59	59	59	60							
				達成率	%	-	-	-	96.7%	92.3%							

【重点施策】中心市街地の活性化

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	78	中心市街地における歩行者・自転車通行量(平日)	当該年度の調査時点における中心市街地の主要10地点の歩行者・自転車通行量の合計。	目標値(単年)	人	-	-	-	20,100	20,300	20,500	20,700	20,900	③ やや遅延	コロナ禍で賑わい創出につながる活動が制限され、指標実績値は低調が続いていると考えられる。令和5年度から第4期中心市街地活性化基本計画がスタートし、また、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから、これまで以上に様々な取り組みを力強く進め、中心市街地の活性化を図る。	まちなか未来創造課	C
				実績値(単年)	人	-	19,113	15,707	16,489	15,370							
				達成率	%	-	-	-	82.0%	75.7%							
KPI	79	中心市街地における歩行者・自転車通行量(休日)	当該年度の調査時点における中心市街地の主要10地点の歩行者・自転車通行量の合計。	目標値(単年)	人	-	-	-	20,100	20,300	20,500	20,700	20,900	③ やや遅延	コロナ禍で賑わい創出につながる活動が制限され、指標実績値は低調が続いていると考えられる。令和5年度から第4期中心市街地活性化基本計画がスタートし、また、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから、これまで以上に様々な取り組みを力強く進め、中心市街地の活性化を図る。	まちなか未来創造課	C
				実績値(単年)	人	-	21,900	18,900	16,453	14,725							
				達成率	%	-	-	-	81.9%	72.5%							

【重点施策】魅力ある中山間地域の振興

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)	
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)			
KPI	80	住民自らが主体となった中山間地域活性化の取組件数	R3～7年度の輝く中山間地域創出事業（ソフト事業）の取組件数の累計。	目標値(単年)	件	-	-	-	6	7	8	9	10	② 概ね 順調	累計ではまだ目標値に達していないが、単年度のソフト事業の目標値は達成しており、徐々に地域団体の取組が増えてきている。今後より効果的な事業展開を図るとともに、地域づくり活動の定着と継続発展を図る。	地域振興課	B	
				目標値(累計)	件	-	-	-	6	13	21	30	40					
				実績値(単年)	件	-	7	4	4	7								
				実績値(累計)	件	-	-	-	4	11								
				達成率	%	-	-	-	66.7%	84.6%								
KPI	81	伝統工芸等後継者育成支援事業活用者数の累計	R3～7年度の伝統工芸等後継者育成支援事業の活用実績数の累計。	目標値(単年)	人	-	-	-	3	3	3	3	3	3以上	④ 遅延	伝統工芸の後継者不足は深刻であり、解消に向けて、市が主体的に市内外へ研修従事者を募集し、研修従事者への支援を行うと共に、研修から就労へつながる対策を講じることにより、伝統工芸の魅力向上と就労希望者の増加を図る。	経済・雇用戦略課	D
				目標値(累計)	人	-	-	-	3	6	9	12	15以上					
				実績値(単年)	人	-	3	2	2	1								
				実績値(累計)	人	-	-	-	2	3								
				達成率	%	-	-	-	66.7%	50.0%								
KPI	82	地域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数	「とっとりふるさとリーダーアカデミー」で養成されたリーダーの当該年度末の人数。	目標値(単年)	人	-	-	-	280	320	330	340	350以上	① 順調	リーダー認定者数の目標は達成したが、参加者の高齢化や地域の偏りが見られるため、若年層が関心をもつようなテーマを取り扱う等して、ゼミ参加者の間口を広げていく必要がある。 今後は高校生、大学生も対象にしたゼミを開催する予定であり、継続して活動に取り組む個人や団体に対しては個別相談窓口により日々対応を続け、活動の深化を図っていく。	地域振興課	A	
				実績値(単年)	人	-	275	292	316	343								
				達成率	%	-	-	-	112.9%	107.2%								

【重点施策】交通ネットワークの充実

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	83	共助交通の導入件数	公共交通空白地等に導入されている当該年度の共助交通の件数。	目標値(単年)	件	-	-	-	5	7	8	8	8	① 順調	路線バスの減便・廃止が続く中で、共助交通の重要性が高まっている。共助交通を必要とする地域が安心して導入・運行継続できるよう支援を行う。また、運行団体が抱える不安や意見を市政に反映し、支援策の充実を図っていく。	交通政策課	B
				実績値(単年)	件	-	3	3	5	7							
				達成率	%	-	-	-	100%	100%							
KPI	84	鉄道利用者数の減少抑制	当該年度の鉄道利用者数。市内各駅乗車人員数の減少を抑制する(年1.5%以内)。	目標値(単年)	万人	-	-	-	378	373	367	361	355	③ やや遅延	人口減少やモータリゼーションの進展等の影響で公共交通事業の縮小が進んでいる。鉄道の減便や廃止は、住民生活や地域経済に大きな影響を及ぼすことから、引き続き沿線自治体や関係機関等と連携し、鉄道の維持・充実に向けた利用促進に取り組む。	交通政策課	C
				実績値(単年)	万人	384	373	294	291	295							
				達成率	%	-	-	-	77.0%	79.1%							
KPI	85	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数	鳥取砂丘コナン空港「鳥取-東京便」の当該年度の有償搭乗者数。	目標値(単年)	万人	-	-	-	38.8	39.6	40.4	41.3	42.0	③ やや遅延	新型コロナウイルス感染症の影響で大幅に落ち込んでいた利用者数は回復傾向にあるが、コロナ前の水準までには至っていない。鳥取-羽田便の5便が令和6年度まで維持されることが決定したものの、令和7年度以降の継続は不透明な状況である。引き続き関係機関と連携し5便の定期便化を目指すとともに、更なる利用促進に取り組む。	交通政策課	C
				実績値(単年)	万人	38.0	38.8	9.2	13.3	28.5							
				達成率	%	-	-	-	34.3%	72.0%							

【重点施策】地域情報化の推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	86	超高速インターネットサービス世帯充足率	当該年度末の通信速度が1Gbps以上のインターネット接続サービスの利用可能世帯の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	91.0	100.0	100.0	100.0	100.0	① 順調	超高速インターネット接続環境が未提供の地域に対して、CATVによる光ファイバー網整備が令和3年度末に完成し、令和4年度からのサービス提供を始めている。有線テレビジョン放送施設の老朽化及び高速化対応のため、他事業者による超高速インターネット整備エリアにおいても計画的に超高速情報通信網の整備（FTTH化）を順次進めることで、市民サービスの充足を図る。	情報政策課	A
				実績値(単年)	%	-	91.0	91.0	100.0	100.0							
				達成率	%	-	-	-	109.9%	100.0%							
KPI	87	公共Wi-Fiの拠点数	当該年度末の公共Wi-Fiが利用できる拠点（公共施設、避難所）の数。	目標値(単年)	件	-	-	-	72	77	82	91	100	② 概ね順調	令和4年度は、市有施設における指定避難所を優先的にWi-Fiの整備を行った（6拠点）が、整備済の一部施設の工事、廃止により、設置拠点が減となった。今後は、指定避難所等のWi-Fi整備が求められる施設に対して、優先的に整備するよう事業を進め、公共Wi-Fiの充足を図る。	情報政策課	B
				実績値(単年)	件	-	72	71	71	75							
				達成率	%	-	-	-	98.6%	97.4%							
KPI	88	ネット手続きまとめサイト「e-鳥取市役所」の公開手続き数	当該年度のネット手続きまとめサイト「e-鳥取市役所」の電子申請の公開手続き数。	目標値(単年)	件	-	-	-	90	1071	1071	1071	1071	② 概ね順調	令和4年度に取組予定とした56手続きのうち、メールによる対応とした手続きや制度廃止検討中の手続きなど、対応を見直した11件を除き、45件の手続きについて電子申請対応を実施した。 令和5年度は各課の手続き案内文書にQRコードを掲載するなど、オンライン化の周知啓発活動を実施し、電子申請サービスの利用を促進する。	情報政策課 地方創生・デジタル化推進室	B
				実績値(単年)	件		80	239	1015	1060							
				達成率	%	-	-	-	1128%	99.0%							

【基本目標Ⅲ-3】健康寿命を延伸し、活力ある健康長寿のまちづくり

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
数値目標	89	健康寿命(65歳以上の平均自立期間)(女性)	当該年度の日常生活動作が自立している(要介護度2未満)期間の平均。	目標値(単年)	年	-	-	-	20.86	20.91	20.96	21.01	21.06	① 順調	高齢者寿命の延びに伴って健康寿命も自然に延伸傾向で、令和4年度は21.74となった。しかし、要介護認定を受けていない方を対象とした調査(令和4年度実施)の結果では、栄養、運動機能、社会参加に関連する項目が課題として挙げられた。介護が必要になる前の高齢者を想定した、地域の中で住民自身が取り組める介護予防につながる取組を検討していく。 ※計画策定時数値は平成29年度のもので、令和4年度実績は令和2年度の数値を報告。	長寿社会課	A
				実績値(単年)	年	-	20.76	21.07	21.03	21.74							
				達成率	%	-	-	-	100.8%	104.0%							
数値目標	90	健康寿命(65歳以上の平均自立期間)(男性)	当該年度の日常生活動作が自立している(要介護度2未満)期間の平均。	目標値(単年)	年	-	-	-	17.71	17.79	17.87	17.95	18.03	① 順調	高齢者寿命の延びに伴って健康寿命も自然に延伸傾向で、令和4年度は18.06となった。しかし、要介護認定を受けていない方を対象とした調査(令和4年度実施)の結果では、栄養、運動機能、社会参加に関連する項目が課題として挙げられた。介護が必要になる前の高齢者を想定した、地域の中で住民自身が取り組める介護予防につながる取組を検討していく。 ※計画策定時数値は平成29年度のもので、令和4年度実績は令和2年度の数値を報告。	長寿社会課	A
				実績値(単年)	年	-	17.55	17.63	17.57	18.06							
				達成率	%	-	-	-	99.2%	101.5%							

【重点施策】スポーツ・レクリエーションの振興

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	91	市民体育祭の延べ参加地区数	当該年度の市民体育祭に参加した延べ地区数。	目標値(単年)	地区	-	-	-	460	470	480	490	500	④ 遅延	新型コロナウイルスの影響により、参加校区数が大きく減少しているため、アフターコロナを見据え、一部市民ニーズに呼应した競技に変更し開催するなど、より多くの校区・市民が参画できる大会となるよう改善してきた。今後も多くの市民にスポーツを行う機会を提供するとともに地域活性化を図っていく。	生涯学習・スポーツ課	D
				実績値(単年)	地区	-	452	大会中止	141	244							
				達成率	%	-	-	-	30.7%	51.9%							
KPI	92	こころのプロジェクト「夢の教室」実施校数	功績を残したアスリートを招いた出前授業(小学校5年生、中学校2年生対象)の当該年度の実施校数。	目標値(単年)	校	-	-	-	16	16	18	18	20	③ やや遅延	当初の予定通り22クラスで実施したものの1校で複数クラスが実施したことで実施校数は11校に留まった。 今後は、より多くの学校で実施できるよう調整に努め、バランスよく開催し、学校で学ぶことができない貴重な体験をすることで、夢を持つことや仲間と協力することの大切さ等を学ぶ機会を創出することとする。	生涯学習・スポーツ課	C
				実績値(単年)	校	-	14	10	12	11							
				達成率	%	-	-	-	75.0%	68.8%							

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	93	学校体育館等の延べスポーツ利用者数	学校施設開放による小中学校体育館等の当該年度の延べ一般利用者数。	目標値(単年)	人	-	-	-	350,000	350,000	350,000	350,000	350,000	① 順調	学校施設開放事業の周知に努めるとともに、多くの市民がスポーツに取り組む環境が提供できるよう、制度の充実や市民ニーズに合ったルール改正に努めるなど、スポーツに触れる機会の増加を図っていく。	生涯学習・スポーツ課	A
				実績値(単年)	人	-	344,804	279,704	442,432	438,624							
				達成率	%	-	-	-	126.4%	125.3%							

【重点施策】健康づくり・疾病予防・介護予防の推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	94	地域等での健康教育・相談の延べ参加者数	保健師・栄養士等の専門職が地域で実施する健康づくり等の知識の普及啓発活動への当該年度の延べ参加者数。	目標値(単年)	人	-	-	-	9,480	9,485	9,490	9,495	9,500	③ やや遅延	特定健診の結果を活用し、生活習慣病の改善が必要な方を対象に保健指導を実施する。また、地域においても日頃より生活習慣病予防や健康づくりの意識を醸成することが必要である。	健康・子育て推進課	C
				実績値(単年)	人	-	9,205	4,982	4,686	7,497							
				達成率	%	-	-	-	49.4%	79.0%							
KPI	95	特定健診・がん検診の受診率(特定健診)	当該年度の鳥取市国保加入者(40~74歳)の特定健診受診率、各がん検診受診率の平均値(目標値50%は国の69歳以下受診率の目標)。	目標値(単年)	%	-	-	-	50.0	55.0	60.0	60.0	60.0	③ やや遅延	特定健診受診率は近年横ばいの状況にある。受診率向上につなげ、生活習慣病予防や重症化の予防に取り組むため、個々の状況に応じた勧奨強化を図っていく。	健康・子育て推進課	C
				実績値(単年)	%	-	33.5	32.4	32.9	33.9							
				達成率	%	-	-	-	65.8%	61.6%							
KPI	96	特定健診・がん検診の受診率(がん検診)	当該年度の鳥取市国保加入者(40~74歳)の特定健診受診率、各がん検診受診率の平均値(目標値50%は国の69歳以下受診率の目標)。	目標値(単年)	%	-	-	-	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0以上	① 順調	がんは長年にわたり本市の死亡原因の第一位で、特に50~60歳代の検診受診率が低い傾向にある。働き盛り世代の健康意識を高め、がんの早期発見・早期治療につなげるため、エビデンスに基づいた取り組み改善等を図っていく。	健康・子育て推進課	A
				実績値(単年)	%	-	45.6	41.3	40.8	53.9							
				達成率	%	-	-	-	81.6%	107.8%							
KPI	97	介護事業所や地域の集いの場へのリハビリ専門職の派遣	当該年度の介護事業所等職員への助言及び地域住民への介護予防啓発のためリハビリ専門職員を派遣した回数。	目標値(単年)	回	-	-	-	160	162	166	168	170	① 順調	リハビリテーションをはじめとする各種医療専門職派遣要請の需要は年々延びてきている。地域への支援をさらに推進していくためには、今後もより多くの専門職に協力してもらわなければならないことを引き続き周知していく。	長寿社会課	A
				実績値(単年)	回	-	155	168	273	231							
				達成率	%	-	-	-	170.6%	142.6%							

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	98	集いの場の箇所数	高齢者が地域の身近な場所で介護予防活動に参加できる「集いの場」の当該年度末の箇所数。	目標値 (単年)	ヶ所	-	-	-	439	474	509	544	578	② 概ね 順調	ふれあい・いきいきサロン事業では、前年度とほぼ同数の「集いの場」を維持できている。しかし、サロン代表や生活支援に取り組む地域福祉関係者の高齢化に伴う担い手不足が地域課題として挙がっており、地域における支え合いの仕組みづくりや担い手の育成及び発掘のため、引き続き福祉学習等による仕掛けやきっかけ作りを推進していく。	長寿社会課	B
				実績値 (単年)	ヶ所	-	404	392	389	385							
				達成率	%	-	-	-	88.6%	81.2%							
KPI	99	シルバー人材センター登録会員数	当該年度末の公益財団法人鳥取市シルバー人材センターの登録会員数。	目標値 (単年)	人	-	-	-	700	721	742	763	784	② 概ね 順調	令和4年度の登録会員数は、前年度より14人多い717人となった。会員増加の要因は、新たにYouTubeを利用した動画を配信する等、普及啓発活動を積極的に取り組んだ結果と考える。今後もシルバー人材センターの運営を支援し、高齢者の豊かな生活の確保や生きがいづくりに取り組んでいく。	経済・雇用戦略課	B
				実績値 (単年)	人	-	742	699	703	717							
				達成率	%	-	-	-	100.4%	99.4%							

【基本目標Ⅲ-4】誰もが安心して暮らしていることができるまちづくり

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
数値目標	100	地域活動に参加したことがある市民の割合	当該年度実施の市民アンケート調査において、「過去1年間に地域活動に参加したことがある」と回答した市民の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	-	-	-	75.0	-	⑤ 評価対象外	令和6年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。引き続き、地域活動や地域共生の推進に向けた啓発活動に取り組んでいく。	協働推進課	評価対象外
				実績値(単年)	%	-	71.5	-	-	-	-	-					
				達成率	%	-	-	-	-	-	-	-					
数値目標	101	福祉ボランティア活動に参加した市民の割合	当該年度実施の市民アンケート調査において、「過去1年に福祉ボランティア活動に参加した」と回答した市民の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	-	-	-	8.0	-	⑤ 評価対象外	令和6年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。今後も地域福祉活動の活性化が進むよう、地域福祉を推進する施策を継続して実施していく。	地域福祉課	評価対象外
				実績値(単年)	%	-	7.2	-	-	-	-	-					
				達成率	%	-	-	-	-	-	-	-					
数値目標	102	高齢者福祉関係の市民満足度指数の平均値	当該年度実施の市民アンケート調査において、住みやすさに関する満足度指数のうち高齢者福祉3項目の指数の平均値(最大5P)	目標値(単年)	P	-	-	-	-	-	-	3	-	⑤ 評価対象外	令和6年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。政策に掲げる「住み慣れた地域で安心して暮らしていることができるまちづくり」を目指し、地域共生社会の実現や地域包括ケアシステムの深化・推進を目標に、第9期(令和6～8年度の計画期間)介護保険事業計画・高齢者福祉計画を策定し、各高齢者福祉事業の取り組みを進めていく。	長寿社会課	評価対象外
				実績値(単年)	P	-	2.97	-	-	-	-	-					
				達成率	%	-	-	-	-	-	-	-					
数値目標	103	国際的な交流の機会・場所に対する重要度	当該年度実施の市民アンケート調査において、重要度が「高い」または「やや高い」と回答をした市民の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	-	-	-	50.0	-	⑤ 評価対象外	令和6年度に実施予定の鳥取市民アンケート調査により実績値を把握する。新型コロナウイルス感染症の収束により、外国人住民が増加傾向であることを踏まえ、多様な人材の受入に向けて、外国人を含めたすべての住民にとって暮らしやすいまちを実現する必要がある。引き続き、関係機関や外国人支援団体などと連携しつつ、やさしい日本語・多言語による情報提供の充実や、各種講座・交流イベントの開催による相互理解の推進などに取り組むことにより、多文化共生のまちづくりの推進を図る。	文化交流課	評価対象外
				実績値(単年)	%	-	42.9	-	-	-	-	-					
				達成率	%	-	-	-	-	-	-	-					
数値目標	104	自主防災活動助成件数	自主防災会が実施する防災訓練への当該年度の活動助成件数。	目標値(単年)	件	-	-	-	569	577	584	592	600	③ やや遅延	コロナ禍による感染拡大防止のため、訓練等の自主防災会の活動が制限され、目標値に達せなかったと考えられる。一方、訓練方法などの助言や自主防災会への情報提供・防災コーディネーターによる支援を行い、助成件数は昨年度より増加した。引き続き、自主防災会の活動支援を行い、共助の強化に取り組む。	危機管理課	C
				実績値(単年)	件	-	553	388	408	424	-	-					
				達成率	%	-	-	-	71.7%	73.5%	-	-					



【重点施策】協働のまちづくりの推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	105	若者が取り組むまちづくり事業の支援	R3～7年度の地区公民館などにおいて大学生が企画・運営するまちづくり事業の実施件数の累計。	目標値(単年)	件	-	-	-	4	4	4	4	4	② 概ね 順調	各地区公民館に対して働きかけを行ったが、新たに若者が関わる地区数が少なかったため、目標値を下回った。引き続き鳥取大学や鳥取環境大学及び地区公民館と連携を行い、若者の発想や企画力を生かした地域の活性化を図る。	協働推進課	C
				実績値(単年)	件	-	3	3	6	1							
				目標値(累計)				4	8	12	16	20					
				実績値(累計)				6	7								
				達成率	%	-	-	-	150.0%	87.5%							
KPI	106	地域活動の支援	町内会が実施する地域活動への当該年度の支援(補助金交付)件数。	目標値(単年)	町内会	-	-	-	250	250	350	450	510	③ やや 遅延	新型コロナウイルス感染症の影響により、町内会での地域活動が自粛された。令和4年度においては、地域活動に対する支援(補助金)の中で、感染症拡大防止に要する費用も補助対象とするなど地域活動の底支えを行った。引き続き町内会の自主的な地域活動に必要な支援を行っていく。	協働推進課	C
				実績値(単年)	町内会	-	501	153	152	168							
				達成率	%	-	-	-	60.8%	67.2%							

【重点施策】地域福祉のまちづくりの推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	107	地域食堂の設置校区数	「地域食堂」が設置されている中学校区及び義務教育学校区の当該年度末の数。	目標値(単年)	校区	-	-	-	11	13	15	16	17	① 順調	地域食堂の設置されていない中学校区において、地域食堂の立ち上げに向けて取り組み、目標値を達成することができた。今後も引き続き中学校区、義務教育学校区で未設置となっている地域食堂の設置に向けて、地域団体等と連携し取り組んでいく。	人権推進課	A
				実績値(単年)	校区	-	9	11	11	14							
				達成率	%	-	-	-	100.0%	107.7%							
KPI	108	共生型サービスの実施事業者数	介護保険と障害福祉のサービスを同一事業所で提供を受けられる「共生型サービス」の当該年度末の実施事業者数。	目標値(単年)	事業者	-	-	-	7	8	8	9	10	③ やや 遅延	集団指導等を通じて、共生型サービス事業を周知し事業所増加の促進を図ったが、事業者の増加には至らなかった。引き続き、共生型サービスの指定事業者の増加を図るとともに、障がいのある方が65歳以上となったときに、利用する事業所を変わることなく、継続してサービスが利用できるような体制強化に努める。	地域福祉指導監査室	C
				実績値(単年)	事業者	-	7	7	6	6							
				達成率	%	-	-	-	85.7%	75.0%							

【重点施策】超高齢化社会に向けたまちづくりの推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	109	医療・介護事業者の連携達成度指数の平均値	医療・介護事業者へのアンケート調査（当該年度の3月31日現在）において、医療・介護連携に関する達成度指数の平均値（最大5P）。	目標値(単年)	P	-	-	-	3.1	3.1	3.2	3.2	3.3	② 概ね 順調	令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、特に対面での連携が前年度と比べ制限されていた。今後はコロナ感染対策のため制限されていた医療・介護従事者等に対する対面での協議や研修の実施など、アフターコロナにおける多職種連携を推進していく。	長寿社会課	B
				実績値(単年)	P	-	3.0	3.1	3.1	3.0							
				達成率	%	-	-	-	100.0%	96.8%							
KPI	110	地域包括支援センター1ヶ所平均の高齢者人口	該年度末の地域包括支援センター1ヶ所平均の高齢者人口。	目標値(単年)	人	-	-	-	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	① 達成	地域密着型地域包括支援センターを10箇所、基幹型地域包括支援センターを1箇所設置し、地域包括支援センターの拡充目標は達成した。今後は、基幹型センターによる地域密着型センターへの指導、後方支援機能の体制強化等、地域密着型センターが各担当地域で地域づくりの核となれるよう取り組みを進めていく。 ※実績値が低いほうが達成率が向上	長寿社会課	A
				実績値(単年)	人	-	10,881	7,857	5,546	5,551							
				達成率	%	-	-	-	達成	達成							
KPI	111	認知症サポーター養成講座受講者数(延べ人数)	認知症サポーター養成講座の当該年度末の延べ受講者数。	目標値(単年)	人	-	-	-	20,323	21,323	22,323	23,221	24,119	② 概ね 順調	超高齢化社会に向けて、認知症の方を地域で支えていくことができるよう、講師役のキャラバン・メイトが地域や職場、学校などに出向いて行う「出前型養成講座」と広く市民を対象とした「公開型養成講座」を開催した。今後も、認知症サポーター養成講座を行うキャラバン・メイトの活動を支援し、受講者数の増加に努める。	長寿社会課	B
				実績値(単年)	人	-	18,323	18,540	18,860	19,153							
				達成率	%	-	-	-	92.8%	89.8%							
KPI	112	地域の各種団体等関係者で話し合う場の設置数	地域の各種団体等関係者が話し合いを行う場の当該年度末の設置数。	目標値(単年)	ヶ所	-	-	-	9	10	11	12	13	① 順調	生活支援コーディネーターの配置により、新たに9か所協議体を設置し、個別ケースや地域課題を中心とした話し合いを行った。うち、3団体は住民が主体となり継続し取り組んでいる。また、未設置地域で地域包括ケアシステムの推進等の説明意見交換を行った。引き続き、他機関協働によるアプローチを行っている。	長寿社会課	A
				実績値(単年)	ヶ所	-	7	3	5	14							
				達成率	%	-	-	-	55.6%	140.0%							
KPI	113	市民後見人候補者名簿登録人数	成年後見人等としての活動を希望し、市民後見人候補者名簿に登録した当該年度末の市民の人数。	目標値(単年)	人	-	-	-	9	11	12	13	14	① 順調	成年後見人制度を必要とする市民が増加していく中、成年後見人等の確保は重要な課題となっている。市民後見人養成講座の研修時間数の多さ、研修内容の難しさが、市民後見人候補者がなかなか増加しない一因になっている。市民後見人になっていただきやすい養成講座への見直しや市民後見人への支援体制を強化し、市民後見人候補者増加に向けた取り組みを進めていく。	長寿社会課	A
				実績値(単年)	人	-	7	7	10	12							
				達成率	%	-	-	-	111.1%	109.1%							

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	114	介護保険施設職員の平均充足度	市アンケート調査(当該年度の3月31日現在)の市内の特養、老健、介護医療院及び地域密着型特養の職員の募集人数に対する採用人数の割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	83.7	85.3	86.8	88.4	90.0	③ やや遅延	介護人材不足が全国的に課題となる中、本市でも介護人材不足が課題となっている。生産年齢人口が減少していく中にあり、介護人材不足解消は困難な課題となっている。今後も介護事業者等の声を聞きながら、企業立地・支援課等庁内連携を行い、外国人材も活用をしながら介護人材の確保に向け取り組んでいく。	長寿社会課	C
				実績値(単年)	%	-	80.6	80.2	81.2	67.9							
				達成率	%	-	-	-	97.0%	79.6%							

**【重点施策】多文化共生のまちづくりの推進**

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	115	国際交流員の国際理解講座等への派遣回数	地域や学校等で実施する国際理解講座への当該年度の交流員の派遣回数。	目標値(単年)	回	-	-	-	80	80	90	90	90	② 概ね順調	新型コロナウイルス感染者数の減少に伴い、改めて事業の幅広い周知を図る必要がある。引き続き、地区公民館をはじめ、小・中・義務教育学校、企業、団体など、幅広く事業の周知や実施の呼びかけを行うことにより、受講者数の増加につなげることで、多文化共生のまちづくりの推進を図る。	文化交流課	B
				実績値(単年)	回	-	83	24	41	65							
				達成率	%	-	-	-	51.3%	81.3%							

**【重点施策】地域防災力の向上**

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	116	防災リーダーの設置地区数	市内61地区自主防災会のうち防災リーダーが設置されている地区の当該年度末の数。	目標値(単年)	地区	-	-	-	58	59	60	61	61	② 概ね順調	コロナ禍による感染拡大防止のため、防災リーダー養成研修が中止となるなど、防災リーダーの活動が制限され、目標値に達せなかったと考えられる。引き続き、すべての地区に防災リーダーが登録されるよう地区自主防災会連絡協議会に働きかけるなどして、防災リーダーの確保に努める。	危機管理課	B
				実績値(単年)	地区	-	57	57	56	56							
				達成率	%	-	-	-	96.6%	94.9%							
KPI	117	浸水が想定される区域内の雨水排水施設整備面積	内水氾濫による浸水被害を軽減するための対策工事の整備面積。	目標値(単年)	ha	-	-	-	2,151	2,167	2,169	2,171	2,174	② 概ね順調	浸水被害発生区域の雨水排水施設整備は概ね順調であり、指標実績値は目標を概ね達成した。今後も継続して整備を進める。また、雨水計画区域全域について、内水浸水想定区域図を作成し、防災意識の向上を図る。	下水道企画課	B
				実績値(単年)	ha	-	2,133	2,161	2,164	2,165							
				達成率	%	-	-	-	100.6%	99.9%							



#### 4. 外部評価ご意見等への回答

質問No.	柱	指標No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
1	ひとづくり	1	鳥取市の合計特殊出生率	産み、育てる環境が必須。子育て支援、給付金の拡充。	本市では、安心して子どもを産み育てられるまちであるために、妊娠・出産・子育てを切れ目なく支援するさまざまな取組を行っており、出産や子育てへの不安解消や、負担軽減の取組はもとより、昨今の新型コロナウイルス感染症やエネルギー価格高騰、物価高騰などの社会的影響を受ける子育て世帯へ臨時給付金を支給するなどの生活支援も行ってきました。 今後も時代の変化や社会情勢に伴うニーズに速やかに対応することで、安心して産み育てられるまちであり続けるよう取組を進めていきたいと考えています。	健康こども部こども家庭局	こども未来課
2	ひとづくり	1	鳥取市の合計特殊出生率	産み、育てる環境が必須。子育て支援、給付金の拡充。	本市では、保険適用とならない不妊検査・不妊治療への助成を行い、子どもを望む方への支援を行っています。また、県と共同して「不妊専門相談センター（はぐてらす）」を設置し、不妊に関する相談や検査・治療・医療機関・助成制度の情報提供等を行っています。また、「子育て世代包括支援センター（こそだてらす）」を設置し、妊娠・出産・育児に対する不安や悩みへの相談対応や情報発信を行っています。 給付金については、国制度の「出産・子育て応援給付金」（妊娠届時と出産後に各5万円）、本市独自の「妊婦さん応援給付金」（妊婦1人につき5万円）を支給しています。	健康こども部鳥取市保健所	健康・子育て推進課
3	ひとづくり	5	妊婦相談率	妊婦さんが幅広く情報が入手でき得る場の拡充をお願いしたい。	本市では、妊娠・出産・子育て中の家族を支援するため、本市独自の「子育て支援アプリ」による情報発信を行っています。妊婦のみなさんにもアプリを活用していただけるよう、アプリのサービス内容や活用方法などを広く周知するとともに、妊娠届出時などに登録を呼びかけてまいります。	健康こども部鳥取市保健所	健康・子育て推進課
4	ひとづくり	6	新生児訪問の訪問率	保健師さんは適切な要員か。	本市では、地区担当保健師のほか助産師・保健師資格を有した母子保健推進員(13名)に委託することで体制を整備し、新生児訪問指導を行っています。 新生児訪問ができなかった理由として、訪問拒否や早期転出、入院中等があります。訪問を拒否されたご家庭には、来所等を促し状況把握を行っています。また、入院中で訪問できなかったご家庭には、4か月を経過した後でも新生児訪問と同様に訪問を行っているところです。 今後も、乳児及びその保護者の心身の様子及び養育環境を把握するとともに子育てに関する不安や悩み等の相談に応じ、安心して子育てができるよう努めていきます。	健康こども部鳥取市保健所	健康・子育て推進課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
5	ひとづくり	7	保育園の待機児童数 (4月1日現在)	待機児童がゼロで達成されている事はとても良い事ですが、その一方で保育園不足や兄弟が同じ園に入れない、また人材不足も懸念されます。	保育の提供体制については就学前人口動態を基に、保育需要を見込んだうえで必要な数の確保を行っており、今後も適正な提供体制の確保に努めます。また、人材確保対策については県と連携を図りながら取り組んでいきます。	健康こども部こども家庭局	幼児保育課
6	ひとづくり	8	保育園の待機児童数 (10月1日現在)	保育士の確保が大前提。賃金、労働条件、職場環境の更なる向上を。	保育士の処遇改善については国の「こども未来戦略方針」の中で「保育士等の更なる処遇改善を検討する」とされており、その動向を注視しながら引き続き国へ必要な要望を行ってまいります。 また、保育業務のICT化により保育士の業務の負担軽減を図るなど、職場環境の向上に取り組んでいるところですが、今後も必要に応じた対策を検討してまいります。	健康こども部こども家庭局	幼児保育課
7	ひとづくり	8	保育園の待機児童数 (10月1日現在)	保育士の確保が課題となっておりますが、保育士さんの勤務体系・給与・待遇がきちんと見合っているのか検討していただきたい。	保育士の処遇改善については国の「こども未来戦略方針」の中で「保育士等の更なる処遇改善を検討する」とされており、その動向を注視しながら引き続き国へ必要な要望を行ってまいります。	健康こども部こども家庭局	幼児保育課
8	ひとづくり	11	鳥取市男女共同参画 かがやき企業認定数	目標値を変更したからではなく、達成に向け、要因分析を行われない。	「鳥取県男女共同参画推進企業」の認定を受けている企業等が「鳥取市男女共同参画かがやき企業」の認定申請をする際、県と同趣旨の書類提出を要することから、書類作成の負担感の声も受けており、申請企業数の伸び悩みの一因であると分析していたところです。 令和5年度からは、県の認定を受けていれば市に提出する書類の一部を省略できることとし、企業等の負担軽減を図るとともに、制度周知に努めているところです。	総務部人権政策局	男女共同参画課
9	ひとづくり	15	授業がよくわかると 思う児童生徒の割合 (小学校)	タブレットの持ち帰りをしているのですが、必要性がよく分からず親も子も「？」です。毎回持って帰るのに重いランドセルと共に持って帰らねばならず必要ならもう少しどうにか検討してほしい。	本市では、児童生徒の情報活用能力の育成並びに学校の学びと家庭での学びの連続性を高めることを目指して、1人1台のタブレット端末を持ち帰って家庭学習に活用しています。市教委では、学校に対して、学校での学習活動の延長としての文書やスライド作成、デジタルドリルを活用した復習・予習、インターネット教材を活用した調べ学習等、端末を持ち帰った際の家庭学習の例を示しています。 また、臨時休業等非常時における学習保障としてもタブレット端末の持ち帰りが有効です。 今後、子どもたちの学びをより豊かにするツールとして、タブレット端末等ICT機器の必要性は益々高まると予想されますので、タブレット端末持ち帰りへのご理解とご協力をお願いいたします。	教育委員会事務局	学校教育課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
10	ひとづくり	15	授業がよくわかると思う児童生徒の割合(小学校)	教員の若返りが急速に進む中、先輩教員の授業力を後輩に伝えていくという学校文化を改めて大切にすることも必要だと考える。	魅力と徹底の授業づくりの中で、授業の中で大切にすることや徹底することを学校全体で確認することによって、若手教員が豊富な経験のある先輩教員から学ぶべきポイントが明確になります。また、先輩教員にとっても意図的に若手教員に関わっていくことができます。学校全体で授業力を上げていくことで、児童生徒の学力向上につなげていきます。	教育委員会事務局	学校教育課
11	ひとづくり	15	授業がよくわかると思う児童生徒の割合(小学校)	魅力と徹底の授業づくりの意味合いがわからない。	本市では、「魅力と徹底」をキーワードとして学力向上に取り組んでいます。「魅力と徹底」の授業づくりの、「魅力」とは児童生徒が勉強する楽しさを実感できること、「徹底」とは児童生徒に学習内容を定着させる取組みのことです。学力向上には「魅力」と「徹底」のどちらもかかすことはできません。全国学力・学習状況調査等の結果を分析しながら、今後も児童生徒の学力向上に努めてまいります。	教育委員会事務局	学校教育課
12	ひとづくり	16	授業がよくわかると思う児童生徒の割合(中学校)	魅力と徹底の授業づくりの意味合いがわからない。	本市では、「魅力と徹底」をキーワードとして学力向上に取り組んでいます。「魅力と徹底」の授業づくりの、「魅力」とは児童生徒が勉強する楽しさを実感できること、「徹底」とは児童生徒に学習内容を定着させる取組みのことです。学力向上には「魅力」と「徹底」のどちらもかかすことはできません。全国学力・学習状況調査等の結果を分析しながら、今後も児童生徒の学力向上に努めてまいります。	教育委員会事務局	学校教育課
13	しごとづくり	22	就業者1人あたりの市内GDP	今後、最低賃金上昇に見合う就業者の生産性向上を図る取組の強化が求められる。	就業者の生産性向上については、先端技術の導入やデジタル化による技術革新、そのための人材育成が重要と考えます。 GX（グリーントランスフォーメーション）、DX（デジタルトランスフォーメーション）等の新たな取り組みを進めるとともに、企業でのリスキリング（職業能力の再開発）について、県、鳥取労働局などと連携して取り組んでまいります。	経済観光部	経済・雇用戦略課
14	しごとづくり	23	大学生県内就職率	県内出身学生が県内就職を希望しても内定が取れずにやむなく県外就職するケースが多い。対策として、市・県職員や企業・団体等の事業所に「県内学生枠」を設けるように進めていただきたい。	市職員については、出身地にかかわらず優秀な人材であれば採用することを基本としています。 また、出身地は本人の適正・能力とは直接関連のない事項であり、出身地によって採用の可否を判断することは就職差別につながるおそれも含んでいることから、「県内学生枠」の導入については、公正な採用選考という観点も踏まえて慎重に検討していく必要があると考えます。	総務部	職員課
15	しごとづくり	23	大学生県内就職率	業種によっては、就職内定率が下降している。学生の希望嗜好もあると思うが、下降した業種への策を検討されたい。	人材不足を背景に、各社新規採用が活性化しており、学生から選ばれる企業が求められます。働き方の改革やDX化を推進し、魅力ある職場環境づくりの支援に取り組んで参ります。	経済観光部	経済・雇用戦略課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
16	しごとづくり	23	大学生県内就職率	県内出身学生が県内就職を希望しても内定が取れずにやむなく県外就職するケースが多い。対策として、市・県職員や企業・団体等の事業所に「県内学生枠」を設けるように進めていただきたい。	学生が県外へ就職するケースにおいては、地元企業の情報がまだまだ十分に届いていないことや、学生が求める職種と県内企業とのミスマッチがあると考えます。これらのミスマッチの解消に繋がる企業の誘致などの取り組みを進めてまいります。	経済観光部	経済・雇用戦略課
17	しごとづくり	25	市内事業所数	目標値令和6年度の9018件は、平成28年時の目標か、それとも修正した目標か。	目標値は策定時のままで修正はしていません。令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響で廃業数の増加が見込まれるため、毎年度0.5%程度向上させることで5年間で現状維持を目標としています。	経済観光部	企業立地・支援課
18	しごとづくり	26	市内農業産出額	農産物のPRをこれまで以上に行政・農業団体の連携を強化する。価格転嫁できれば農業者の再生産の励みとなる。消費者の理解の醸成も連携する。	県や東部4町、JA等の関係機関と連携して、「鳥取県農業生産1千億達成プラン」や「産地プロジェクト」を通じて地域ブランド商品の生産拡大を進めていきます。 また、新型コロナウイルスが5類に引き下げられたことから、マルシェや商談会、新商品開発により地域ブランド商品の価値を高め、農業所得の向上につながるよう事業を強化していきます。	農林水産部	農政企画課
19	しごとづくり	29	補助事業（所得向上メニュー）指定企業における投下固定資産額の累計	最も困難な課題の一つ。「実業」ではなくなるが、資本ストックに依拠しない「しごとづくり」でも良いのではないか。	「しごとづくり」という点においてはコロナ禍以降、製造拠点の移転・集約や地方へのオフィス移転の流れから本市への進出を検討する企業からの問い合わせも増えており、新たな雇用創出につなげるべく誘致活動を行ってまいります。また、市内製造業においては生産性向上や製造品の高付加価値化への転換により収益力の向上、その収益を原資とする賃上げを行う流れを創出することは、製造業者及び従業員にとって必要な取組であると考えております。 今後より多くの活用がなされるよう補助要件の見直し等を検討いたします。	経済観光部	企業立地・支援課
20	しごとづくり	31	留学生地域就労支援事業でのインターンシップ参加者の市内就職者数の累計	留学生のニーズとマッチしているのか疑問である。市内の就労にこだわる必要があるのか。	留学生のインターンシップにおいては、鳥取市環日本海経済交流センターのコーディネーターが支援を行っており、今後も、ヒアリング等により留学生のニーズを踏まえながら、インターンシップ事業に取り組んでまいります。 また、鳥取県においても、外国人留学生向けの合同企業説明会、就職セミナーなどに取り組まれています。	経済観光部	経済・雇用戦略課
21	しごとづくり	31	留学生地域就労支援事業でのインターンシップ参加者の市内就職者数の累計	インターンシップのあり方、広報などを総合的に見直す必要があるのでは。	コロナ禍でインターンシップ事業の推進が困難だったことで、オンデマンド形式に変更するなど、留学生などに利用しやすい方法を考えたところであり、引き続き留学生のニーズに合うよう検討してまいります。	経済観光部	経済・雇用戦略課



質問No.	柱	指標No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
22	しごとづくり	32	市内企業への就職を前提とした市内の日本語学校入学者数の累計	令和4年度実績上は順調であるが、国際情勢の変化から、日本を希望する海外労働者は減少傾向と聞いております。特に、ベトナムは円安も主要因に減少しているようです。日本語学校の実績や課題を把握しつつ対応しないと、達成率低下が懸念されます。	ご指摘の状況は本市及び日本語学校としても把握しており、円安の影響を比較的受けにくい国々（ネパール・ミャンマー等）からの留学生の受け入れを来年度以降進めていく予定です。今後も国際情勢等取り巻く環境を注視しながら、日本語学校と連携し事業を進めてまいります。	経済観光部	企業立地・支援課
23	しごとづくり	32	市内企業への就職を前提とした市内の日本語学校入学者数の累計	現時点では市内就職に繋がるのか不明である。	本市では慢性的な人材不足にお困りの企業が多いと考えており、特に介護分野での人材不足は顕著だと聞いております。このような中、高度な知識や技能を身に付け、意欲や熱意を持って業務に励む外国人材は貴重な戦力であると、本事業を活用された企業様から評価いただいています。引き続き市内企業に本事業を活用いただけるよう、日本語学校と連携し周知に取り組んでまいります。	経済観光部	企業立地・支援課
24	しごとづくり	33	まちづくり投融資制度（投資・融資）の活用実績額の累計	制度利用の要件や手続等のハードルが高いのではないかと。	本制度は、未利用地や空き店舗が増加する中心市街地や過疎化の進む総合支所周辺エリアの活性化のため、遊休不動産を活用した、まちの魅力向上に繋がる民間まちづくり事業を支援するものです。要件やハードルが他の融資制度などより高くなっていますが、商工団体や金融機関の伴走支援があること、また、他の融資制度と比較しても有利な条件となっています。ただし、制度の延長にあわせ、対象エリアや魅力向上についての基準については、若干幅広く捉えるよう制度の運用を図っています。	経済観光部	企業立地・支援課
25	しごとづくり	33	まちづくり投融資制度（投資・融資）の活用実績額の累計	<ul style="list-style-type: none"> <li>取扱期間を3年延長（リノベーションまちづくり構想と合わせる）</li> <li>商工会議所等への周知が必要と考える</li> </ul>	取扱期間については3年延長し、2026年までとしています。また、金融機関及び商工団体への周知も行っており、起業予定者への情報提供などにより広く周知を図っています。	経済観光部	企業立地・支援課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
26	しごとづくり	34	第三者承継補助金交付企業数の累計	第三者承継に限定しているため、想定ほどニーズがないのではなからうか。	<p>本補助金の目標値は、地元金融機関からの情報（見込）を基に設定していますが、第三者承継においては、着手金・成功報酬などの費用の問題や、親族内承継や従業員承継に進むケースなどで、なかなか最終契約まで踏み込めない現状もあるようです。</p> <p>第三者承継に限定している点については、親族内承継、従業員承継、第三者承継に共通する課題として、相続税・贈与税などの税制面、また、株式や資産の譲渡費用の問題がありますが、第三者承継にはこれに加え、承継先（買い手）を探す際に専門機関を活用する費用が発生します。</p> <p>個人の資産や税金に対しては、財政支援する性質のものとは考えにくく、第三者承継においてのみ余分に発生する、専門機関への相談費用の一部を支援してきたところです。</p> <p>しかし、これまでは承継元（売り手）に対する支援がほとんどでしたが、国においても、承継先の設備投資の支援なども制度化され、また専門機関も完全成功報酬型に変わってきているのが現状であるため、制度の見直しを行い、令和5年度より成功報酬に対する支援を始めています。</p>	経済観光部	企業立地・支援課
27	しごとづくり	34	第三者承継補助金交付企業数の累計	「市内に事業承継に関する支援機関が少ないこと」が要因ではなく、支援機関に対する積極的な周知、行動、推進の不足と具体的改善策の本実施が主要因ではないでしょうか。（人口減少、企業数減少→将来の税収低下要因！！）	<p>制度の周知を図るため、地元専門機関への制度説明や市ホームページへの掲載とともに、事業承継の基本や税制への理解を深めるための「事業承継セミナー」を年2回開催しましたが、制度の利用件数は伸び悩みました。</p> <p>このことについて、地元金融機関や事業承継・引継ぎ支援センターと協議し、制度そのもののあり方、周知方法に課題があるのではないかと検証しました。元々3年間の制度としていたこともあり、令和5年4月から制度改正を行っています。合わせて、地元金融機関への補助制度の説明と情報発信依頼、また市ホームページに事業承継の特集ページを新しく設けるなど、補助制度の周知を図っています。</p> <p>引き続き事業承継・引継ぎ支援センターや地元金融機関と連携して、ニーズの把握に努め、より良い支援策を検討していくとともに、事業承継の推進を行って参ります。</p>	経済観光部	企業立地・支援課
28	しごとづくり	42	市公設地方卸売市場の取扱高の累計	市場再整備に加えて、旧市街の一面に食をテーマとした場外市場を建設してはどうか。金沢近江町市場のような市街地駅周辺に食のテーマパークエリアの開発はどうか。	<p>現在、食のテーマパークの建設は考えていませんが、本市の安心で安全な農林水産物の高付加価値化やブランド化は必要と考えております。</p> <p>6次産業化や農商工連携などにより、農林水産物の高付加価値化・ブランド化に取り組むとともに、新たな食品加工産業の育成、販路開拓や地産地消を推進してまいります。</p>	経済観光部	経済・雇用戦略課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
29	しごとづくり	43	市内の新規農業担い手数の累計	上記内部評価コメントの取組を進めるため、媒体を通じた情報発信やセミナー関係などの広報強化が必要ではないか。	昨年度までは、大阪の農業関係イベントに2回参加し、新規就農者の増加へ向けた活動を行ってきましたが、今年度はさらに鳥取県内イベントへの参加も予定しており、県内での情報発信を強化していきます。	農林水産部	農政企画課
30	しごとづくり	44	市内の新規林業従事者数の累計	主伐、間伐以外の特用林産物への就業者の拡大を図り、山林の活性化に繋げる。	特用林産物の新規参入者への取り組みについて、本市の特産品である椎茸の種菌の購入経費の支援や販売促進のパンフレット作成等経費の支援や安全装備の購入に要する経費の支援を行っています。今後も新規参入者への支援策を継続し行い、椎茸産地としての持続的な発展を目指します。	農林水産部	林務水産課
31	しごとづくり	46	市戦略作物の出荷量	「日光生姜」にも力を入れてほしい。	引き続き重点育成作物として生産振興を図るとともに、近隣産地と連携協力を図りながら、県内外で開催のマルシェ等で積極的に出店・販路拡大を図っていきます。	農林水産部	農政企画課
32	しごとづくり	46	市戦略作物の出荷量	農産物は、生産者目線より消費者目線の価格形成となっている。生産コストが価格転嫁できるよう、戦略作物の販売面での連携強化も必要と考える。	アスパラガスなどの市戦略作物について、生産性や品質向上の推進をはじめ、付加価値の高い商品として販売できるよう県やJAと連携し、ブランド化を推進していきます。	農林水産部	農政企画課
33	しごとづくり	48	担い手農家への農地集積率	令和7年度の目標値には届かないように思われる。	集積率に大きく寄与するのは水稻農家ですが、米価下落に加え、物価高騰で生産コストが上昇し、利益が圧迫され経営面積の拡大が困難になっています。今後も引き続き、分散農地の集約化による経営の効率化、新規就農者や意欲ある農業者への農地集積、新たな担い手農家の確保・育成に努め集積率向上を図ります。	農林水産部	農政企画課
34	しごとづくり	51	6次産業化取組支援件数の累計	所得向上までつながっているのか成果確認をしてほしい。	6次産業化に取り組むにあたり、事業者が作成する「プラン」の中で売上や生産量などの目標を設定しています。市では、目標達成まで毎年、進捗管理のため成果確認を行っています。	農林水産部	農政企画課
35	しごとづくり	53	スマート農業支援件数の累計	就業人口減少のなか、スマート農業、農業用ロボット、AI農業などイニシャルコストの支援の充実が必要と考えます。	活用可能な補助金の周知に努め、スマート農業の実践に必要な経費支援を積極的に行い、農業設備投資の負担軽減を図っていきます。	農林水産部	農政企画課
36	しごとづくり	53	スマート農業支援件数の累計	支援メニューや先進技術内容などの情報発信の強化が必要では。	スマート農業技術の活用を促すため、先進農家のスマート農機の活用状況を紹介するなど、市ホームページなどインターネットを利用した情報発信を強化していきます。	農林水産部	農政企画課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
37	まちづくり	54	移住定住者数	全国的に移住ブームになっており、20代～40代に鳥取に移住してもらっているのは喜ばしい。今後は他県との差別化のアピールになると思うので、こまめに魅力発信していく必要性を感じる。	移住定住促進に係る取組は全国で取り組まれており、いただいたご意見のとおり、他県との差別化やこまめな魅力発信が大切だと考えています。 今後も、移住定住ポータルサイト「とっとりコネクト」での、こまめな情報発信を行うとともに、移住先の候補としての本市の認知度向上に努めてまいります。	市民生活部	地域振興課
38	まちづくり	54	移住定住者数	コロナ禍の時期に大健闘だと思いますが、これからどの地域も力を入れてくると思われます。一層の工夫が求められると思います。	ご意見のとおり、新型コロナウイルス感染症の5類相当への移行に伴い、他の自治体も移住促進に力を入れ始めています。大都市圏での移住相談会へのより積極的な参加や移住定住ポータルサイト「とっとりコネクト」の更なるコンテンツ充実を図るとともに、田舎暮らしに憧れる移住希望者への訴求や、関係人口の創出など、プッシュ型の移住促進施策の展開についても検討してまいります。	市民生活部	地域振興課
39	まちづくり	54	移住定住者数	どうの方が移住して来られたのか、例えば農業とか商業とか。分かれば教えてください。	本市では、転入手続きの際に移住者アンケートを実施しておりますが、職業に関する問の回答率が低く、統計的なデータを持ち合わせておりません。 令和4年度に鳥取市へ移住された世帯の主な移住理由としては、就職のためが約32%、定期異動を含まない転勤が約12%、退職または離職による帰郷といなか暮らしがそれぞれ約10%となっております。	市民生活部	地域振興課
40	まちづくり	55	観光入込客数	砂丘から温泉やその他観光地にどれくらい人を呼び込めたかまた、滞在時間増加に繋げられる取組とその検証結果を知りたい。 また基本的な方向と事業の概要があてないと感じます。方向はまち選び。暮らしを重視した「まち選び」に対応するため、自然や文化を活用し、定住・移住者数の推進の取組と感じますが、実際の事業内容は観光客の数値での評価となっております。どちらもまちが今後にぎわうために必要な事だと思いますが、戦略の柱がすれないよう、正しく理解して取組んでいただきたいと思っています。	本市では、滞在型観光の推進に向けて、鳥取砂丘や砂の美術館を訪れる観光客が周辺観光地へ周遊し、滞在時間の増加につなげていく取組として、「ぐるっと鳥取周遊タクシー」の運行を支援しており、コロナ前は外国人観光客を対象としていましたが、コロナ禍においては国内旅行者にも利用いただける形で運行してきたところです。 令和4年度は28のコースを設定し、年間1,330台の利用となりましたが、最も申込の多かったコースが鳥取砂丘、鳥取城跡、白兔海岸を巡るコースで、全体の約3割を占めています。 こうした周遊観光を促す取組は、多彩なまちの魅力に触れることで、本市が観光客や移住・定住者に選ばれる目的地となり、結果としてまち全体の賑わいの創出につながるということが重要であると考えています。 ご指摘の通り、戦略の基本的な方向を踏まえた上で、観光客や移住・定住者に「選ばれるまち」となるための取組を関係者と連携を図りながら進めていきたいと考えています。	経済観光部	観光・シオパーク推進課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
41	まちづくり	57	地域魅力度	何故未達成なのか、何がブランドなのか。全く理解できない内容である。	<p>地域ブランド調査は、株式会社ブランド総合研究所が実施する大規模消費者調査で、令和4年度は1,047自治体（都道府県と1,000市区町村）について、地域の認知度や魅力度などのアンケート調査を行っています。本調査では、地域ブランドを『地域に対する消費者からの好意的な「評価」と「期待」であるとし、その「評価」と「期待」を「地域が消費者からどれだけ魅力的であると思われるのか」という設問で調査』しています。（出典：第17回地域ブランド調査2022ハンドブック）</p> <p>本市では、シティセールスの推進に当たり、全国的な本市の評価を参考とするため、本調査を指標とし、目標値を高く設定して取組を進めております。</p> <p>これまで、著名人を起用したPR動画の製作やミュージックビデオのロケ地となるなど、全国的にも話題となる取組を継続して実施しているところです。これにより、目標値には達していないものの、本調査での本市の地域魅力度は218位（R3）から171位（R4）に、認知度も、26位（R3）から14位（R4）に向上しました。</p> <p>引き続き、全国的なプロモーションのみならず、市民のみならずにも本市の魅力発信と一緒に取り組んでいただく「オール鳥取市」でのシティセールスに取り組む、「住む人」「来る人」に選ばれるまちを目指してまいります。</p>	企画推進部	政策企画課
42	まちづくり	59	移住相談登録者数	実体験された感想等広くPRすることで大いに魅力を発信出来る。	<p>移住定住ポータルサイト「とっとりコネクト」では、本市に移住された方のインタビュー記事を掲載しており、元プロ野球選手の川口和久さんの記事を筆頭に、移住希望者に閲覧をいただいているところです。今後も、実体験を伝える記事の掲載を行ってまいります。</p>	市民生活部	地域振興課
43	まちづくり	60	中山間地域における空き家登録件数の累計	登録件数も大切だが、利活用出来た件数も表示すべきではないでしょうか。	<p>令和3年度は登録9件・成立件数12件で、内訳は県外からの移住世帯7件、県内からの5件、令和4年度は登録9件・成立件数10件で、内訳は県外からの移住世帯5件・県内からの世帯5件となっております。なお、登録年度と移住希望者等とのマッチングが成立した年度は必ずしも一致しません。</p>	市民生活部	地域振興課
44	まちづくり	60	中山間地域における空き家登録件数の累計	利用できる空き家が活用されていないことは大変もったいないので、調査を徹底し、移住者も元々の市民も誰もがお得に借りたり、買ったりできるよう急いで対応してほしいと思います。	<p>利活用可能な所有者不明空き家については、法律に基づく納税者情報の活用を図ることで、移住定住空き家運營業務に取り組む地域団体と所有者をつなげていきたいと考えております。また、令和5年度に空家等対策の推進に関する特別措置法が改正され、国は危険な空き家である特定空家等の除却を中心とした政策から、空き家の活用拡大、管理の確保を加えた3本柱での対応に変わっていく流れがあります。</p> <p>空き家の利活用を啓発・促進していこうという国の動きに呼応しつつ、今後も空き家の利活用の促進に努めて参ります。</p>	市民生活部	地域振興課

質問 No.	柱	指標 No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
45	まちづくり	60	中山間地域における空き家登録件数の累計	目標値と現実の空き家件数との乖離が大きすぎる印象あり。外形上の空き家と賃貸又は購入可能までの条件をクリアし、登録に至る物件に相当の差があることは理解できますが、空き家が全国で1,000万件に到達しようかという時代、人口25万人圏域で年間目標が10件というのは、移住希望者の選択肢として不足気味のような気がします。	本市が行う中山間地域での空き家の利活用は、空き家の解消を第一の目標に据えたものではなく当該地域への移住促進による地域活性化を目的とした取組です。全国的に増加している空き家の多くは、管理されないまま放置され、老朽化した空き家ですが、移住希望者が利活用できる空き家は、修繕等があまり必要のない「状態の良い空き家」です。当KPIは、このような背景や過去の移住者による活用実績を踏まえ、「状態の良い空き家」として登録する件数を目標値として設定しているものです。 また本市の中山間地域では、移住定住空き家運営業務を、まちづくり協議会やNPO法人などの地域団体へ委託して、空き家情報の収集、所有者との調整、現地調査、入居希望者とのマッチングなどに取り組んでいただいております。 今後も、移住希望者の住居の選択肢として空き家を活用できるよう、地域団体と連携して空き家の活用を促進させてまいります。	市民生活部	地域振興課
46	まちづくり	61	魅力ある民泊に向けた取組団体数	母数が少ないと成果につながりにくいので、この取り組みを広く伝える必要がある。	本取組をウェブページやSNSなどを活用して移住者をはじめ幅広く周知していきたいと考えております。	市民生活部	地域振興課
47	まちづくり	62	関係人口拡大に取り組む団体の数	どんな取組をしたのか、この内容では見えない。	いんしゅう鹿野まちづくり協議会が遊休施設活用支援を利用し、アートと地域交流の拠点となる施設「ART CUBE クチュールシカノ」を開設、谷地区活性化協議会は輝く中山間地域創出事業の補助金を活用し、自主映画「傘に愛をこめて 山本徳次郎」を制作するなど、関係人口拡大に取り組む活動を継続して行っております。	市民生活部	地域振興課
48	まちづくり	63	観光入込客数（再掲）	砂丘から周辺の温泉や観光地にどれくらい呼び込めたのか？また回遊するために具体的にどのような取り組みがあったのか、詳しくお聞かせください。それによって回遊した人数や滞在時間にどのような影響があったのか、またその検証結果はどのようなになっているのでしょうか。具体的な取り組みや結果があれば、教えてください。	本市では、滞在型観光の推進に向けて、鳥取砂丘や砂の美術館を訪れる観光客が周辺観光地へ周遊し、滞在時間の増加につなげていく取組として、「ぐるっと鳥取周遊タクシー」の運行を支援しており、コロナ前は外国人観光客を対象としていましたが、コロナ禍においては国内旅行者にも利用いただける形で運行してきたところです。 令和4年度は28のコースを設定し、年間1,330台の利用となりましたが、最も申込の多かったコースが鳥取砂丘、鳥取城跡、白兎海岸を巡るコースで、全体の約3割を占めています。	経済観光部	観光・シオパーク推進課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
49	まちづくり	64	外国人宿泊者数	東アジアがどのような国々を指すか不明ながら、台湾を除けば他はすべて強い反日性向を有する国々であり、不買運動やノージャパンのリスクに加え、政治・経済的にも不安定感が増大しつつある地域。こうした背景に一切触れることなく、今後とも同エリアからのインバウンドに最大の期待を寄せ続けるかのような記述には不安感を抱く市民もいるのでは。東南アジアやオセアニア等、他の近隣地域への展望も開くべき時期ではないでしょうか。	本市では来訪実績が最も多い東アジア市場の中でも、特に台湾や香港を従来から誘客ターゲットにプロモーションを行ってきているところですが、今後は安定的なインバウンド需要の獲得をめざし多角的な誘客についても検討してまいります。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課
50	まちづくり	65	シティセールス取組評価値	指標がアンケートの市民意識調査の数値であり、客観性や実態の反映程度には物足りなさも抱く。「来る人」の満足感の把握を含め、一層の努力が不可欠と思われる。	第2期鳥取市創生総合戦略の重点施策「シティセールスの推進」については、本市公式LINE登録者等を対象にしたアンケート調査における取組評価をKPI（重要業績評価指標）とし、株式会社ブランド総合研究所が実施する「地域ブランド調査」の「地域魅力度」を基本目標に設定し、市民のみならず市外から見た本市の評価を踏まえ、シティセールスを推進することとしております。 また、本市では、各種のモニターツアーや地域連携DMO「一般社団法人麒麟のまち観光局」が実施する観光地でのアンケート調査などで、本市を訪れる方々の満足度などの把握に努めているところです。 引き続き、様々な機会を捉えてニーズや満足度を把握し、「住む人」「来る人」に満足いただけるよう施策を推進してまいります。	企画推進部	政策企画課
51	まちづくり	67	市内文化活動団体連合組織への加入団体数	趣味も多様化しており、新しい分野を増やしては？	本市では、鳥取市文化団体協議会をはじめ、地域ごとに文化団体連合組織が運営されており、美術、工芸、音楽、舞踊、演劇、伝統文化など、さまざまな分野の文化団体・グループが加入しています。 引き続き、新たな分野も含め、各種団体などに対し、各連合組織への加入を呼びかけると同時に、加入の動機付けとなる団体向けの支援制度の拡充などについても検討していきたいと考えます。	企画推進部	文化交流課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
52	まちづくり	68	文化芸術鑑賞者数	これからは次世代育成を図ると共に早期の受け皿の充実を。	<p>本市は、地域における文化芸術活動の持続・発展に向け、活動支援、情報発信、普及啓発、次世代育成、環境整備などの取組を推進しています。</p> <p>このうち、次世代育成に関しては、小・中学校において複数分野の講座を開催する「芸術の出前講座」、鳥取市芸術家バンク登録者を小・中学校に派遣する「地元芸術家派遣事業」のほか、乳幼児を対象としたコンサート、中学生を対象とした吹奏楽クリニックなどを実施しており、さらなる充実に向けて、引き続き取組を推進します。</p> <p>また、受け皿となる環境整備に関しては、市民会館など、既存文化施設の老朽化などを踏まえ、本市の文化芸術振興の拠点となる新たな施設の整備を検討しており、今年度中の基本方針策定に向けて、引き続き取組を推進します。</p>	企画推進部	文化交流課
53	まちづくり	69	麒麟のまち圏域への観光入込客数	<p>圏域全体の数字ではなく、圏域内の地域にどれほど観光客が周遊したのかが大切であり、その検証結果を開示してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域の観光スポットへのアクセス数や滞在時間、消費金額などを調査し、地域ごとの特性を分析する。</li> <li>・宿泊施設の宿泊者数や出身地、滞在期間、宿泊目的などを調査し、どの地域に観光客が集まっているかを把握する。</li> <li>・観光客アンケート調査を実施し、どのような観光情報に興味を持っているかや、次回来訪時の希望地域などを把握する。</li> </ul> <p>これらのデータを分析することで、圏域内のどの地域に観光客が集中しているか、どの地域での観光が伸びているかなどを把握し、よりの確かなマーケティング戦略を立てると思います。もしすでにこのような数字の集計をしているのであれば開示頂きたい。</p>	<p>令和4年度においては、地域連携DMO「麒麟のまち観光局」による圏域内の観光客アンケート調査を実施しており、主な調査結果は下記のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・属性：回答者の74%がマイカー利用、回答者の17%が2泊以上の宿泊。</li> <li>・旅行目的：回答者の80%以上が観光・レジャー目的。20代はイベント参加・帰省の利用が多い。</li> <li>・訪問先：家族・親族で訪問したグループの42%が砂丘訪問しており割合が高い</li> <li>・日帰り宿泊別：近畿地方の回答者の27%が日帰り。3泊以上の宿泊は4%</li> <li>・旅行消費単価：2022年度の宿泊消費単価は34,954円、日帰り消費単価9,374円</li> <li>・興味、期待：20代の鳥取砂丘来訪者は、景色・風景、癒しへの期待が高い。</li> </ul>	経済観光部	観光・ジオパーク推進課
54	まちづくり	70	麒麟のまち圏域への移住者数	令和3年～4年の達成率はコロナ禍の特殊要因の影響下にあると思われる。その分析とコロナ以降の展開につなげる戦略の見直しも不可欠。	<p>新型コロナウイルス感染症の5類相当への移行により、令和3年度・4年度と続いてきた大都市圏から地方へ移住しようとする人の流れに変化が起きているのかどうかについては、まだ見極めが難しいところですが、引き続き圏域市町で連携した移住相談会への出展等に取り組んでいきます。また本市においては、自ら打って出る取組が必要だと考えており、田舎暮らしに憧れる移住希望者への訴求や、関係人口の創出など、プッシュ型の移住促進施策の展開についても検討してまいります。</p>	市民生活部	地域振興課



質問No.	柱	指標No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
55	まちづくり	72	中心市街地の居住人口（社会増減数）	<p>今後は子育て世代の若年層の移住・定住が課題だと思えます。乳児から年配者まで皆が安心して暮らせる鳥取市をテーマに、住居・企業など行政で動いてほしいです。</p>	<p>これからのまちを担う若者が、暮らし・働き・交流することを通じて、様々な世代の人々が豊かでいきいきと暮らすことができる中心市街地の形成を目指して、地域住民、民間団体・事業者、行政等が一体となった事業推進を図りながら、行政として、ソフト・ハード両面での必要な環境整備に引き続き取り組んでいきます。</p>	都市整備部	まちなか未来創造課
56	まちづくり	73	小さな拠点の形成箇所数	<p>小さな拠点について、今回実施された地域はどこで、どの様なことをされたのですか？</p>	<p>気高町逢坂地区において地区の活性化や耕作放棄地遊休農地の活用、共助交通対策など各種課題を解決していく担い手を雇用しております。</p> <p>県内外への研修の参加及び先進地視察等を行い、逢坂地区の将来像を構築できるよう育成に取り組んでおります。</p>	市民生活部	地域振興課
57	まちづくり	77	協働による芝生化の箇所数	<p>公園・公共空地の整備・美化は重要だと思えます。少し車で走れば山・海はあるとはいえ、住居空間に散歩したくなるような公園などは子育て世代はじめ皆の憩いの場になるはずで、安心して定住するためには不可欠だと思えます。</p>	<p>芝生化の促進を図りつつ、市民の憩いの場として良好な施設環境の確保に努めてまいります。</p>	都市整備部	都市環境課
58	まちづくり	81	伝統工芸等後継者育成支援事業活用者数の累計	<p>後継者不足は鳥取の伝統工芸の周知不足といえます。この課題解決には、観光面でも鳥取の伝統工芸の発信力を注ぐことが必要だと感じます。</p>	<p>伝統工芸の後継者不足は深刻であり、引き続き研修従事者への支援は行っていくよう考えております。現在、研修従事者の採用については各団体からの提案のほか、本市としても関西の芸術系の大学にチラシの配布などを行い、情報提供に努めているところです。</p> <p>また、観光面での発信力についても、商店街が開催する「みんげいみつけ」などのイベントを支援するなど取り組んでいるほか、今年度は宿泊施設等に本市の伝統工芸品を利活用していただき、県外からの宿泊客に触れていただくような取り組みも実施しているところです。</p>	経済観光部	経済・雇用戦略課
59	まちづくり	81	伝統工芸等後継者育成支援事業活用者数の累計	<p>伝統工芸の魅力、存在自体の発信、アピールが必要ではないか。</p>	<p>伝統工芸の後継者不足は深刻であり、引き続き研修従事者への支援は行っていくよう考えておりますが、本市の伝統工芸を知ってもらう取り組みも重要であると認識しております。</p> <p>因州和紙については、「かみんぐさじ」や「あおや和紙工房」において、一般の方だけではなく地元学校等でも紙漉き体験などで和紙を身近に感じていただいておりますし、イオン鳥取北店イベントスペースでの紙漉き体験・展示即売会の実施や、東京などでのイベント参加について支援を行っているところです。</p> <p>その他の伝統工芸についても関係団体と連携しながら、より多くの方に魅力を感じていただけるよう考えてまいります。</p>	経済観光部	経済・雇用戦略課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
60	まちづくり	82	地域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数	地域課題の解決に取り組むリーダーは必要不可欠です。市全体で育成し、リーダーを守り支援していく体制を整えてほしいと思います。良いものであれば新しい発想をどんどん取り入れ、若年層参加増加に向け取り組んでいただきたいと思います。	令和5年度においても高校生、大学生に御協力いただきゼミを開催しております。 座学だけではなく地域で開催されるイベントの運営に協力するなど、新たな若年層のリーダー候補生を育成できる取り組みを続けていきたいと考えております。	市民生活部	地域振興課
61	まちづくり	83	共助交通の導入件数	コミュニティバスと路線バス・鉄道の上手な中継はできないのでしょうか。コミュニティバスは路線バスが走っている路線は走れないのですか。地域によるのでしょうか。	共助交通は、交通事業者による輸送サービスの提供が困難な交通空白地域において運行が認められている制度です。 共助交通の実施に当たっては、地域の交通事業者や警察、道路管理者等の関係者による協議が整った上で、道路運送法の登録を受ける必要があるため、運行する路線や区域についても関係者の合意が必要となります。	都市整備部	交通政策課
62	まちづくり	92	こころのプロジェクト「夢の教室」実施校数	もっと多くの学校・学年で実施してほしいです。	本事業は、公益財団法人日本サッカー協会に委託し実施しているもので、その事業対象学年は、小学5年生・中学2年生とされています。今後は、対象学年を拡大するなど、より多くの学年で実施できるよう公益財団法人日本サッカー協会と協議してまいります。 また、改めて、事業の趣旨や目的を校長会等で周知・広報するなど、より多くの学校で実施していただけるよう働きかけてまいります。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課
63	まちづくり	95	特定健診・がん検診の受診率（特定検診）	長年にわたる受診率低迷の原因分析が分明となっていないため、今後の展開も含め評価が難しい。	今後、未受診者に対し広くアンケートを行うなどして未受診理由について把握・分析を行うとともに、医療機関から受診を勧めいただくなど、連携した取組を行うことを考えています。	健康こども部鳥取市保健所	健康・子育て推進課
64	まちづくり	95	特定健診・がん検診の受診率（特定検診）	下のがん検診は53%なので、必要なものは市民が受診しているのではないかと考えます。特定検診のニーズがないのかもしれませんが。	特定健診は、ご自身の健康状態を確認することができ、病気の予防や重症化の予防、早期発見、早期治療にもつながる健診で、ご自身の健康のためにぜひ受けていただきたい健診です。引き続き、ハガキ送付や看護師による訪問、医療機関・薬局でのチラシ掲示等により受診勧奨を行い、受診率向上に取り組めます。	健康こども部鳥取市保健所	健康・子育て推進課
65	まちづくり	98	集いの場の箇所数	伸び悩みにはコロナ禍の影響もあると推測されるが、コロナ後も地域住民の高齢化や担い手不足は深刻化の度合いを加えていく一方であると思われる。これまでになかったような新たな対策や工夫も積極的に検討していく必要があるのでは。	ご指摘の通り、地域住民の高齢化及び担い手不足の問題が深刻化しています。そのため、集いの場の数を増やすだけでなく、継続して集いの場に通うことがより重要となってきます。本市では、生活支援コーディネーターの配置を鳥取市社会福祉協議会に委託し、地域の課題やニーズの把握・分析を行い、地域で需要の高い通いの場の立ち上げの支援などを行っています。 今後も創意工夫を凝らしながら地域づくりに取り組んでいきます。	福祉部	長寿社会課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
66	まちづくり	99	シルバー人材センター登録会員数	心身の健康、生きがい、経済面等高齢者の生活を多面的に支援する施策として、具体的な内容や発展性を有する重要な事業であり、一層の注力が大切と考える。	シルバー人材センターは、就業による高齢者の積極的な社会参加と生きがいづくりに大いに寄与されています。活力ある高齢社会を支える地域の中核的な組織として、シルバー人材センターの担う役割は一層重要なものとなっています。少子高齢化が急速に進む今日において、地元企業の人材不足解消に向けても、引き続き支援を行ってまいります。	経済観光部	経済・雇用戦略課
67	まちづくり	104	自主防災活動助成件数	少子高齢化や定年延長等による地域力低下の影響が現れやすい分野であり、長期的な展望に基づいて活動を維持していくための施策が重要と思われる。	自主防災会が高齢化などにより消火訓練などが困難な場合や訓練の実施にあたり相談を受けた場合などに、地域毎に養成している防災リーダーや危機管理課に配置している防災コーディネーターが実情に応じた講習や助言を行い、活動の支援を行っています。また、自主防災会の育成と防災体制の充実を図るため、消火器や小型消防ポンプの整備経費の助成等に加えて、今年度からは地区が行う防災訓練に対して最大20万円の助成制度を新たに設けたところです。 今後も、共助の要となる自主防災会の活動をしっかりと支えながら、地域の防災体制の強化を図ってまいります。	危機管理部	危機管理課
68	まちづくり	105	若者が取り組むまちづくり事業の支援	目標値としては1件の減だが、もっと目標値を上げて頑張ってもらいたい施策です。公民館または町内会は年配層が古い考え方に捉われ、また主導権を握ることで地域が新しい方向へ進歩することが阻害されているように感じます。若者が関わる事で、地域全体の発展を期待したい。	引き続き地区公民館や大学などの関係機関とも協力して、地域に関われる若者や大学生を増やしていきたいと考えています。	市民生活部	協働推進課
69	まちづくり	106	地域活動の支援	コロナを経て、人々の意識も変化した。新しい形で支援できるよう内容の精査をされてはいかがでしょうか。	令和5年度の補助金の交付件数は、8月末時点で令和4年度の実績件数を上回っており、新型コロナウイルス感染症の5類移行とともに地域活動も回復してきています。 今後も地域活動の支援を継続していくとともに、地域からいただくご意見などを参考に支援内容も精査していきます。	市民生活部	協働推進課
70	まちづくり	107	地域食堂の設置校区数	設置促進のためには一定数の利用者維持の観点も必要と思われるが、利用当事者である子どもへの直接的働きかけができていないため、学校や地域団体PTA等関係者間での情報交換や連携がどのように可能か検討していく取組みも必要と思われる。	学校やPTA等関係者との連携を図り、より多くの子どもが地域食堂を利用しやすい環境づくりに努めます。	総務部人権政策局	鳥取市中央人権福祉センター

質問No.	柱	指標No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
71	まちづくり	107	地域食堂の設置校区数	私もこども食堂を何度か利用したことがあります。こども食堂は素晴らしい取組だと思いますが、本当に支援が必要な家庭が利用できるよう、彼らが貧困に陥っていることを隠すことなく、またこども食堂の存在を知らせる工夫をしていただきたい。	鳥取市では、生活困窮世帯の子どもをはじめ、世代を超えて多くの方々が利用できるよう、地域食堂として実施しています。 今後、市のホームページやセンターだより、チラシ等のさまざまな広報媒体を通じて、より多くの方々に地域食堂の存在を周知するよう努めてまいります。	総務部人権政策局	鳥取市中央人権福祉センター
72	まちづくり	109	医療・介護事業者の連携達成度指数の平均値	内部評価を②とすることに特段の異議はないが、「専門事業者のアンケート調査結果」は一般市民の側からは評価の是非が判断し難い。指標の説明にもう工夫があることが望ましい。	市民にとって分かりやすい説明となるよう検討いたします。	福祉部	長寿社会課
73	まちづくり	110	地域包括支援センター1ヶ所平均の高齢者人口	内部評価を①とすることに特段の異議はないが、「地域センターが地域づくりの核となれるよう」との記述が、具体的にどのような姿を目指しているのか、専門的知識を持たない外部の者には評価が難しい。	地域の様々な場や機会を通じて、地域のサービス利用者、関係団体等の意見を聞きながら、包括支援センターの日々の活動に反映させるとともに、地域が抱える課題の解決に積極的に取り組むことを目指すものです。	福祉部	長寿社会課
74	まちづくり	111	認知症サポーター養成講座受講者数（延べ人数）	これからどんどん必要性が増加することが予想されるので、認知症サポーター養成講座の周知が課題と思われます。	公民館などで行われるサロン等での認知症サポーター養成講座の周知を継続するとともに、新たに開催できる場について鳥取市社会福祉協議会等と協議・連携し周知を行っていきます。	福祉部	長寿社会課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
75	まちづくり	113	市民後見人候補者名簿登録人数	退職された教員の方など、退職される方に情報をお届けする仕組みはあるのでしょうか。	退職される方に情報をお届けする仕組みはありませんが、市民後見人候補者の増加に向け、養成講座の案内を市報や各地区公民館や病院、スーパーなどに配布し、周知しております。	福祉部	長寿社会課
76	まちづくり	114	介護保険施設職員の平均充足度	<p>特養等の職員の募集人数は、高齢者数の増加とともに今後とも増大傾向を続けると思われる。</p> <p>一方の職員応募者数の増減については、コロナ禍の収束に伴う改善要因（感染・重症化リスク低減による医療・介護現場忌避傾向の緩和）とともに悪化要因（経済全般の回復による産業界全体の求人倍率の増大と給与水準の上昇）の相互作用の結果がどうなるか等の不確定要素があるとも思われるが、今後の生産年齢人口の確実な減少を直視すれば、大幅な賃金水準の上昇も見込めない介護系エッセンシャルワーカーの雇用が改善する余地は全くない。</p> <p>外国人人材といっても、日本語の習得困難度もあり、低迷を続ける所得水準に加え、外国人労働者にとっても日本の労働市場の魅力は大きく低下しており、期待外れとなる可能性が大きい。</p> <p>令和7年度の目標値の達成は困難とも思われるが、達成率の評価に当たっては、雇用環境や全体の求人動向等を把握する所管部局の意見も参考にしながら、妥当な評価なり、評価方法の微調整を検討してはどうか。</p>	<p>本指標については、より良い介護人材確保対策の指標となるよう、現在の指標での評価の妥当性等、今後検討していきたいと考えています。</p>	福祉部	長寿社会課
77	まちづくり	114	介護保険施設職員の平均充足度	人材確保のためには、待遇改善が必要だと思う。それを行政としてどう支援するか？	介護人材確保は、本市でも重要な課題であると認識しており、介護事業者との話し合いにより、事業者が求める支援を実施できたと考えています。具体的には、研修等による介護職員のスキルやキャリアアップ支援や、ICT活用による事務の効率化等、労働環境や待遇の改善に必要な支援を行いたいと考えています。	福祉部	長寿社会課
78	まちづくり	114	介護保険施設職員の平均充足度	介護人材確保に向け労働環境の改善は絶対欠かせない課題。鳥取市独自の処遇基準の引き上げ等は不可能なのでしょうか？	<p>介護保険制度は全国一律の制度として運用されており、一部のサービスにおいては、国へ事前申請し、許可を受け、条例の定めにより、通常より高い報酬の算定基準を設定することができますが、介護職員全体の処遇基準の引上げについては、本市独自での取組みは難しいと考えます。</p> <p>まずは、介護保険制度に定めのある、処遇改善加算を全ての事業所が算定できるよう支援をしていくことが重要ではないかと考えます。</p>	福祉部	長寿社会課

質問 No.	柱	指標 No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
79	まちづくり	114	介護保険施設職員の平均充足度	介護・医療・介護予防・生活支援・住まいのサービスが一体的に提供される地域包括ケアシステムの深化を実現するために何をされたのでしょうか？確かに人材不足は深刻な課題ですが、地域包括ケアセンターの整備をすることで、人材不足の課題が解決される仕組み作りも可能だと思います。「住み慣れた地域で暮らし続ける事が出来るまちづくり」とかかっています。高齢者が多く住む町は、限界集落が多く、人材不足は予測可能な話だと思います。課題の本質・解決できる課題・解決出来ない課題を見分けて取り組む必要があると感じました。	人口減少と高齢化が急速に進んでいくが見込まれる中、高齢者が医療や介護が必要な状態となっても、可能な限り住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援を包括的に確保していこうとする仕組みである、地域包括ケアシステムが重要な取組となります。 本市ではこの取組を進めるため、高齢者の困りごと相談など、さまざまな面で支援をより身近な地域で行えるよう、地域包括支援センターの拡充を進めたところです。各地域包括支援センターには、認知症地域支援推進員を配置し、認知症の相談や本人視点での取組の強化にも努め、認知症になっても安心して暮らし続けることができるよう取り組んでいます。また、地域支え合い推進員の活動による、地域の集いの場や地域課題の解決に向けた話し合いの機会の創出などの取組も進めました。 できるだけ元気に暮らすための介護予防の推進も取り組んでいます。が、生産年齢人口の減少が続いており、介護分野でも人材不足が課題となっています。介護分野での人材確保支援策として、本市ではハローワーク鳥取との連携で介護事業所合同就職説明会の開催、また外国人人材確保の取組を進めており、介護事業所等関係者のご意見も伺いながら、さらなる介護人材確保につながる取組に努めてまいります。	福祉部	長寿社会課
80	まちづくり	116	防災リーダーの設置地区数	施策の基本的方向は頻発する自然災害また未知の感染症への対応です。ともにいつ訪れるか分からない災害に対して、目標が達成されなかった理由をコロナに帰することは正当化できません。	災害への備えはいかなる状況でも必要と考えておりますが、防災リーダーの養成にあたっては実地を伴う研修を複数日に渡り受講していただき、防災リーダーとしての知識や技能を習得いただく必要があるため、コロナ禍で人と人の接触が制限されるなかでは研修の開催が難しい状況がありました。 しかしながら、地域の防災活動には中心となって活動いただく防災リーダーを欠かすことができません。防災リーダーが主体的にかかわることが地域防災力の向上には必要と考えています。コロナの5類移行を受け、本市では、地域や関係部局が連携して防災リーダーの募集等を行い、各地区での防災リーダーの養成に努めてまいりたいと考えています。	危機管理部	危機管理課
81	まちづくり	117	浸水が想定される区域内の雨水排水施設整備面積	想定外の災害が度々起こる昨今、これまでの想定を見直す必要があるのではないかと思います。	本市の下水道による雨水計画では、7年に1回程度の頻度となる時間降雨量50mmを計画降雨として雨水排水施設の整備を進めています。 国が策定している雨水管理総合計画策定ガイドラインにおいては、下水道による浸水対策を実施する地方公共団体に対して、雨水管理総合計画の策定に当たっては、気候変動により将来の降雨量が増加することを考慮したうえで、排水能力の見直しを含めて浸水対策を実施すべき区域や対策目標等を定めることを求めています。 これを踏まえ、令和7年度を目途に策定を目指す雨水管理総合計画に合わせ、計画雨量の検討を進めてまいりたいと考えています。	下水道部	下水道企画課

## 5. 外部評価ご感想等

質問No.	柱	指標No.	評価指標	ご感想等の内容	回答部局	回答課
1	ひとづくり	5	妊婦相談率	妊婦同士の交流を通して活動を進めていくことはとても良い方法だと思います。	健康こども部 鳥取市保健所	健康・子育て 推進課
2	ひとづくり	8	保育園の待機児童数（10月1日現在）	目標には達していないが、人材確保が困難な中でも前年度より大幅に減少したことを前向きに評価したい。	健康こども部 こども家庭局	幼児保育課
3	ひとづくり	10	療育事業に継続参加した幼児・保護者の満足度	高い満足度が連続して維持されており、努力の賜物だと思う。目標値の設定を見直しても良いのではないだろうか。	健康こども部 こども家庭局	こども発達支 援センター
4	ひとづくり	13	地域や社会を良くするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合（中学校）	自己肯定感を得られるような実のある活動内容を工夫していただきたい。	教育委員会事 務局	学校教育課
5	ひとづくり	20	地区公民館への専門職員の配置割合	是非整備され促進されたい。早急に対応されたい。	教育委員会事 務局	生涯学習・ス ポーツ課
6	ひとづくり	21	地域学校協働本部の設置数	目標を大きく下回ってはいるが、設置の難しさを考えると2校区増えていることを前向きに評価したい。設置に向けての支援を地域の実情に応じてより具体化し、少しずつでも着実に拡大していけば良いと考える。	教育委員会事 務局	生涯学習・ス ポーツ課
7	しごとづくり	22	就業者1人あたりの市内GDP	令和5年度のこの時点で、令和2年度実績を「概ね順調」と評価されること、理解し難いです。	経済観光部	経済・雇用戦 略課
8	しごとづくり	22	就業者1人あたりの市内GDP	アフターコロナの取組を、行政・企業・市民一丸となって進めていきたい。	経済観光部	経済・雇用戦 略課
9	しごとづくり	23	大学生県内就職率	取組の成果が出てきているように感じる。今後も企業・自治体と連携した情報発信で前進させていきたい。	経済観光部	経済・雇用戦 略課
10	しごとづくり	24	市内製造品出荷額等	アフターコロナに向け、需要が質・量ともに大きく変わることが予想される。状況を見極め、積極的な取組を期待したい。	経済観光部	企業立地・支 援課
11	しごとづくり	24	市内製造品出荷額等	令和5年度のこの時点で、令和2年度実績を「順調」と評価されること、理解し難いです。	経済観光部	企業立地・支 援課

質問 No.	柱	指標 No.	評価指標	ご感想等の内容	回答部局	回答課
12	しごとづくり	24	市内製造品出荷額等	大きな変化はないが、必要な程度の支援を続ければ良い。	経済観光部	企業立地・支援課
13	しごとづくり	25	市内事業所数	ウクライナ侵攻長期化予想される現況の下、事業所数減少が懸念され、更なる地域経済疲弊や雇用確保への改善案を早急に検討すべきと考えます。	経済観光部	企業立地・支援課
14	しごとづくり	25	市内事業所数	全産業に関わる施策なので評価が難しい。KPIの達成率から見て評価区分を③とするのが妥当と考えられる。KPIも「市内事業所数」では、事業規模を反映しないため、これで良いのか疑問である。例えば「市民一人あたりGDP」またはその成長率等も考えられるが、一長一短ある。	経済観光部	企業立地・支援課
15	しごとづくり	25	市内事業所数	引き続き企業支援に尽力願いたい。	経済観光部	企業立地・支援課
16	しごとづくり	25	市内事業所数	基本的な方向が基本目標を実行することは理解するが、その効果の判断が多岐のため、評価しづらいと感じました。	経済観光部	企業立地・支援課
17	しごとづくり	26	市内農業産出額	令和5年度及び令和6年度のKPI達成に向けて着実に事業を進めていくことが望まれる。	農林水産部	農政企画課
18	しごとづくり	26	市内農業産出額	県や企業との連携等により、さらなる働きかけを期待したい。	農林水産部	農政企画課
19	しごとづくり	27	市内木材搬出量	どの自治体でも難しい課題である。民間活用も難しく、長期的な取組課題である。	農林水産部	林務水産課
20	しごとづくり	27	市内木材搬出量	事業の進展とともに、担い手育成の視点からも積極的な取組を期待したい。	農林水産部	林務水産課
21	しごとづくり	28	市内漁獲量	漁獲量の維持は困難。磯焼け対策など地道な努力を続けていくしかない。	農林水産部	林務水産課
22	しごとづくり	29	補助事業（所得向上メニュー）指定企業における投下固定資産額の累計	コロナ禍が変わり、新たなステージでこれからかと考えます。	経済観光部	企業立地・支援課
23	しごとづくり	29	補助事業（所得向上メニュー）指定企業における投下固定資産額の累計	内部評価のとおり、状況を見ながら積極的な取組を期待したい。	経済観光部	企業立地・支援課



質問No.	柱	指標No.	評価指標	ご感想等の内容	回答部局	回答課
24	しごとづくり	30	市公式インターネットショップ「とっとり市」の売上金額の累計	コロナの臨時的要因がなくなるこれからが正念場（どこの業界も共通すること）。地に足をつけた取組が求められる。	経済観光部	経済・雇用戦略課
25	しごとづくり	30	市公式インターネットショップ「とっとり市」の売上金額の累計	毎年2割増の目標達成に向けて頑張ってください。	経済観光部	経済・雇用戦略課
26	しごとづくり	31	留学生地域就労支援事業でのインターンシップ参加者の市内就職者数の累計	農業就労が技術習得、母国への技術指導展開となるよう願います。	農林水産部	農政企画課
27	しごとづくり	33	まちづくり投融資制度（投資・融資）の活用実績額の累計	幅広い周知に向け、セミナー等の関係や広報活動を検討していただきたい。	経済観光部	企業立地・支援課
28	しごとづくり	34	第三者承継補助金交付企業数の累計	内部評価のとおり、潜在的な需要を掘り起こすための施策・広報等を検討していただきたい。	経済観光部	企業立地・支援課
29	しごとづくり	34	第三者承継補助金交付企業数の累計	今後の制度啓発活動に期待します。	経済観光部	企業立地・支援課
30	しごとづくり	35	農商工連携マッチング支援事業者数の累計	必要な取組。件数だけでなく、中身、質を高める工夫を続けてほしい。	経済観光部	企業立地・支援課
31	しごとづくり	36	補助事業指定企業における投下固定資産額の累計	内部評価のとおり、アフターコロナにおける支援メニューの充実・広報等の取組に期待したい。	経済観光部	企業立地・支援課
32	しごとづくり	36	補助事業指定企業における投下固定資産額の累計	恐らく実施されていると思うが、税制面での補完施策も必要である。	経済観光部	企業立地・支援課
33	しごとづくり	37	産学官連携による新技術開発事業活用件数の累計	現状を踏まえて、新施策の立案に期待したい。	経済観光部	経済・雇用戦略課
34	しごとづくり	37	産学官連携による新技術開発事業活用件数の累計	廃止もやむなし。	経済観光部	経済・雇用戦略課
35	しごとづくり	38	鳥取市国際経済発展協議会の地元企業海外進出等に対する支援の累計件数	内部評価のとおり、コロナ後の働きかけ、広報展開等に期待したい。	経済観光部	経済・雇用戦略課
36	しごとづくり	38	鳥取市国際経済発展協議会の地元企業海外進出等に対する支援の累計件数	多少改善されている。貿易相談等の件数は増えてくると思われる。	経済観光部	経済・雇用戦略課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	ご感想等の内容	回答部局	回答課
37	しごとづくり	39	新規のオフィス設置数（市関与分）の累計	この施策で年に1件あれば十分と思われる。ECでの販路拡大、ブランド力強化につながればそれで良い。	経済観光部	企業立地・支援課
38	しごとづくり	39	新規のオフィス設置数（市関与分）の累計	内部評価のとおり、アフターコロナでの取組に期待したい。	経済観光部	企業立地・支援課
39	しごとづくり	40	「鳥取市ふるさと物産館」等の売上金額の累計	ECサイト、インターネット販売が中心で問題ない。	経済観光部	経済・雇用戦略課
40	しごとづくり	40	「鳥取市ふるさと物産館」等の売上金額の累計	内部評価のとおり、ECに加えて店頭やイベントを絡めた展開等に期待したい。	経済観光部	経済・雇用戦略課
41	しごとづくり	41	麒麟のまち関西情報発信拠点での売上金額の累計	内部評価のとおり、圏域内での連携を強化して、アフターコロナ市場での巻き返しを期待したい。	経済観光部	経済・雇用戦略課
42	しごとづくり	41	麒麟のまち関西情報発信拠点での売上金額の累計	アンテナショップとしての役割は果たしている。	経済観光部	経済・雇用戦略課
43	しごとづくり	42	市公設地方卸売市場の取扱高の累計	情報受発信機能面での役割強化が期待される。市場外取引とのバランスを考えれば、これぐらいの規模で妥当である。	経済観光部	経済・雇用戦略課
44	しごとづくり	43	市内の新規農業担い手数の累計	担い手数の増加はこの程度で良い。技術力や経営の質を高めることが重要である。	農林水産部	農政企画課
45	しごとづくり	43	市内の新規農業担い手数の累計	農業団体等との連携を強化し、担い手確保を図る。	農林水産部	農政企画課
46	しごとづくり	44	市内の新規林業従事者数の累計	内部評価コメントの取組を進めるため、担い手育成に向けた情報発信の強化等に期待する。	農林水産部	林務水産課
47	しごとづくり	44	市内の新規林業従事者数の累計	重要課題の一つ。「若手」林業労働者の育成に努めてほしい。	農林水産部	林務水産課
48	しごとづくり	45	市内の新規漁業就業者数の累計	新規就業希望者自体を増やす取組も必要。	農林水産部	林務水産課
49	しごとづくり	45	市内の新規漁業就業者数の累計	市の事業でなくても良いかもしれない。	農林水産部	林務水産課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	ご感想等の内容	回答部局	回答課
50	しごとづくり	47	キジハタ漁獲量	内部評価のとおり、アフターコロナを見据えた取組に期待したい。	農林水産部	林務水産課
51	しごとづくり	47	キジハタ漁獲量	資源保護の取組と並行して進めていただきたい。	農林水産部	林務水産課
52	しごとづくり	48	担い手農家への農地集積率	内部評価のとおり、担い手育成を含めた取組に期待したい。	農林水産部	農政企画課
53	しごとづくり	48	担い手農家への農地集積率	農地集積、規模拡大を図る農産物として米と考えるが、米価が再生産可能な価格まで上がることに消費者の理解と米消費は不可避。難しいKPIと考えます。	農林水産部	農政企画課
54	しごとづくり	49	森林経営計画等作成面積	次年度以降の達成にも期待する。	農林水産部	林務水産課
55	しごとづくり	50	農畜産物の販路拡大マッチング件数	実績や事例を基にした情報発信、産地や企業へのフィードバック等に期待したい。	農林水産部	農政企画課
56	しごとづくり	50	農畜産物の販路拡大マッチング件数	特に問題なし。	農林水産部	農政企画課
57	しごとづくり	51	6次産業化取組支援件数の累計	実績や事例などを発信し、更なる認知や取組の強化につながることを期待したい。	農林水産部	農政企画課
58	しごとづくり	52	多面的機能支払交付金対象の農用地面積の割合	内部評価のとおり、今後の農地用面積減少の懸念は大きい。県や団体・民間企業と連携した体制強化・取組が必要。	農林水産部	農村整備課
59	しごとづくり	52	多面的機能支払交付金対象の農用地面積の割合	令和4年度に関しては特に問題ない。	農林水産部	農村整備課
60	しごとづくり	53	スマート農業支援件数の累計	AI活用が期待される。	農林水産部	農政企画課
61	まちづくり	54	移住定住者数	少子高齢化や地方都市の過疎化など、地方社会における人口減少や地域経済の停滞を解決するためにとても大切と考えます。これからも魅力的なまちづくり、移住者支援をしっかりと行っていただきたい。	市民生活部	地域振興課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	ご感想等の内容	回答部局	回答課
62	まちづくり	55	観光入込客数	コロナで多大な影響を受けた観光業ですが、その間の「旅行に行きたい!」がこれからは実行に移す時になりました。TV「そこまで言って委員会」で問題に正解すると鳥取県の特産品プレゼントという番組がありました。NHKでは「移住」をテーマにした番組が放送されています。ANAの「翼の王国」9月号は岡山の真庭郡の特集でしたが、読後に「行ってみたい!」と感じました。これからは滞在型観光、移住など活発になると予測されるので、引き続き取り組んで欲しい。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課
63	まちづくり	55	観光入込客数	指標の「観光入込客数」の動向はコロナ禍の影響があまりに大きく、令和2年度～令和4年度の達成率を客観的に分析することは相当に困難であり、令和5年度の実績値を見ながら遡って再評価することも考慮すべきとも思われるが、令和5年度以降の施策推進には一層の努力が望まれる。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課
64	まちづくり	57	地域魅力度	昨年より上昇したものの未達成。TOP3の地域が行っている内容の中で参考になり、取り入れられることは、どんどん取り組んで欲しい。	企画推進部	政策企画課
65	まちづくり	58	麒麟のまち圏域の人口	スケールメリットが活用できない鳥取において、住民の望む施策を実現することで人口増につなげてほしい。	企画推進部	政策企画課
66	まちづくり	59	移住相談登録者数	移住者が確実に定住していくように、安心して暮らせる鳥取市に向け課題解決に頑張ってくださいと思っています。	市民生活部	地域振興課
67	まちづくり	59	移住相談登録者数	時代の追い風もあるので、今年の成果を来年も続けてほしい。他市にない魅力の掘りおこしに期待したい。	市民生活部	地域振興課
68	まちづくり	60	中山間地域における空き家登録件数の累計	空家になってしまったものかとすぐに行動に移せる人ばかりでなく、現状を詳しく把握することも重要だと思われる。	市民生活部	地域振興課
69	まちづくり	60	中山間地域における空き家登録件数の累計	選べることにより魅力は増す。登録件数が増えることで三方よしになってほしい。	市民生活部	地域振興課
70	まちづくり	62	関係人口拡大に取り組む団体の数	本年度の取組で効果が出なかった要因を認識し、そこを強化してほしい。	市民生活部	地域振興課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	ご感想等の内容	回答部局	回答課
71	まちづくり	63	観光入込客数（再掲）	コロナで多大な影響を受けた観光業ですが、その間の「旅行に行きたい!」がこれからは実行に移す時になりました。TV「そこまで言って委員会」で問題に正解すると鳥取県の特産品プレゼントという番組がありました。NHKでは「移住」をテーマにした番組が放送されています。ANAの「翼の王国」9月号は岡山の真庭郡の特集でしたが、読後に「行ってみたい!」と感じました。これからは滞在型観光、移住など活発になると予測されるので、引き続き取り組んで欲しい。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課
72	まちづくり	63	観光入込客数（再掲）	指標の「観光入込客数」の動向はコロナ禍の影響があまりに大きく、令和2年度～令和4年度の達成率を客観的に分析することは相当に困難であり、令和5年度の実績値を見ながら遡って再評価することも考慮すべきとも思われるが、令和5年度以降の施策推進には一層の努力が望まれる。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課
73	まちづくり	64	外国人宿泊者数	砂丘の魅力を市民が誇りをもって内外にアピール出来るよう、地元の人達が進んで足を運ぶエリアにしたい。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課
74	まちづくり	64	外国人宿泊者数	アフターコロナで仕方ない部分も大きい「人」の魅力でインバウンドの回復に努めてほしい。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課
75	まちづくり	64	外国人宿泊者数	目標値は大幅に下回っているが今後期待できるものと思います。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課
76	まちづくり	65	シティセールス取組評価値	今後も市役所、観光コンベンション、移住定住機構など枠を越え、情報交換・共有し、連携し、シティセールスに向け一丸となって取り組んでいただきたいと思います。	企画推進部	政策企画課
77	まちづくり	66	市が管理する主なSNSのフォロワー数	ごみの収集日配信は私も利用しています。便利です。	企画推進部	秘書課広報室
78	まちづくり	67	市内文化活動団体連合組織への加入団体数	出前講座の普及、促進を図る。	企画推進部	文化交流課
79	まちづくり	68	文化芸術鑑賞者数	160%とは素晴らしいです。	企画推進部	文化交流課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	ご感想等の内容	回答部局	回答課
80	まちづくり	69	麒麟のまち圏域への観光入込客数	今、世代間で価値観・収集している情報が異なっている。「麒麟のまち」といっても、この言葉に反応するのは60代以上の人たちのように感じる。関西万博も実現が難しく感じる。続けるのであれば、「誰が・どうなる」という部分に的を絞って発信して欲しい。魅力的に映らなければ観光客は来てくれない。どれだけメリットを感じさせるかを前面に打ち出して欲しい。	経済観光部	観光・シオパーク推進課
81	まちづくり	69	麒麟のまち圏域への観光入込客数	指標の「観光入込客数」の動向はコロナ禍の影響があまりに大きく、令和2年度～令和4年度の達成率を客観的に分析することは相当に困難であり、令和5年度の実績値を見ながら遡って再評価することも考慮すべきとも思われるが、令和5年度以降の施策推進には一層の努力が望まれる。	経済観光部	観光・シオパーク推進課
82	まちづくり	70	麒麟のまち圏域への移住者数	今後は移住後のアフターフォローにも力を入れ、移住者が確実に定住するよう皆が安心して暮らせる鳥取市をテーマに頑張ってもらいたいと思います。	市民生活部	地域振興課
83	まちづくり	72	中心市街地の居住人口（社会増減数）	令和3年と令和4年の変動幅があまりに大きく、現時点で妥当な評価がしづらい。	都市整備部	まちなか未来創造課
84	まちづくり	79	中心市街地における歩行者・自転車通行量（休日）	アフターコロナでイベント等が増え、中心市街地が活性化するであろうと思われることから、様々な取り組みに励んでもらいたい。	都市整備部	まちなか未来創造課
85	まちづくり	81	伝統工芸等後継者育成支援事業活用者数の累計	後継者育成は時間を要するが、学校、専門学校等仕事の魅力を大いにPRし、発展のため努力してほしい。	経済観光部	経済・雇用戦略課
86	まちづくり	82	地域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数	後継者育成は時間を要するが、学校、専門学校等仕事の魅力を大いにPRし、発展のため努力してほしい。	市民生活部	地域振興課
87	まちづくり	84	鉄道利用者数の減少抑制	人口が減少すれば必然的に鉄道利用者も減少します。人口増加するためには皆が安心して暮らせる鳥取市となるよう、移住・定住者が安定するよう不動産、働く企業の問題が最重要課題だと思います。	市民生活部	地域振興課
88	まちづくり	85	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数	鳥取-羽田は1時間15分で行け大変便利なので、唯一の5便がなくなると大変不便です。なんとしても継続してほしいと思います。鳥取砂丘コナン空港というネーミングも素晴らしいです。	都市整備部	交通政策課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	ご感想等の内容	回答部局	回答課
89	まちづくり	85	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数	令和3年～4年については、コロナ禍の影響大であり、適切な評価がしづらい。	都市整備部	交通政策課
90	まちづくり	89	健康寿命（65歳以上の平均自立期間）（女性）	これからは介護を受けずに健康で暮らしていくということが最重要課題だと思います。全国的に少子高齢化が進むなか、鳥取市も年配者が安心して健康で暮らせるまちになるよう全力で取り組んでいただきたいと思います。	福祉部	長寿社会課
91	まちづくり	90	健康寿命（65歳以上の平均自立期間）（男性）	女性の達成率との差についての分析、それに対する対応についての記述があればより望ましい。	福祉部	長寿社会課
92	まちづくり	90	健康寿命（65歳以上の平均自立期間）（男性）	女性と同様、男性も介護を受けずに健康で暮らしていくということが最重要課題だと思います。 乳児から年配者まで安心して暮らせる鳥取市となるよう、取り組んでいただきたいと思います。	福祉部	長寿社会課
93	まちづくり	90	健康寿命（65歳以上の平均自立期間）（男性）	取組を続けてください。	福祉部	長寿社会課
94	まちづくり	91	市民体育祭の延べ参加地区数	④だが今後に期待できる。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課
95	まちづくり	91	市民体育祭の延べ参加地区数	令和3年度より増加している。参加してくれた校区の理由を聞き、他の校区につなげてほしい。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課
96	まちづくり	91	市民体育祭の延べ参加地区数	令和3年～令和4年については、コロナ禍の影響大であり、適切な評価が難しい。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課
97	まちづくり	92	こころのプロジェクト「夢の教室」実施校数	実施できない理由を聞き取り、改善につなげてほしい。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課
98	まちづくり	93	学校体育館等の延べスポーツ利用者数	スマート予約システムというネットにいち早く対応されとても利便性が高いと思います。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課

質問No.	柱	指標No.	評価指標	ご感想等の内容	回答部局	回答課
99	まちづくり	93	学校体育館等の延べスポーツ利用者数	学校施設を利用させていただけることは大変ありがたいことだと思います。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課
100	まちづくり	93	学校体育館等の延べスポーツ利用者数	このまま続けてください。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課
101	まちづくり	94	地域等での健康教育・相談の延べ参加者数	実績値を見ると回復傾向にあるので、取り組み方を検証して、引き続き実績の上がる方向で取り組んでくださればと思う。	健康こども部 鳥取市保健所	健康・子育て推進課
102	まちづくり	94	地域等での健康教育・相談の延べ参加者数	昨年より実績が上がっているのでこのまま取り組んでほしい。	健康こども部 鳥取市保健所	健康・子育て推進課
103	まちづくり	94	地域等での健康教育・相談の延べ参加者数	昨年と比較すると、達成率が30%もアップしています。素晴らしいと思います。	健康こども部 鳥取市保健所	健康・子育て推進課
104	まちづくり	96	特定健診・がん検診の受診率（がん検診）	令和4年の達成率はコロナ禍の受診控えに対する反動要因も否定できない。今後とも継続的な取組強化が不可欠。	健康こども部 鳥取市保健所	健康・子育て推進課
105	まちづくり	96	特定健診・がん検診の受診率（がん検診）	達成率が素晴らしいです。	健康こども部 鳥取市保健所	健康・子育て推進課
106	まちづくり	97	介護事業所や地域の集いの場へのリハビリ専門職の派遣	安定して成果を出していらして素晴らしいです。	福祉部	長寿社会課
107	まちづくり	98	集いの場の箇所数	担い手不足の解消に参考になる事例があると良いですね。	福祉部	長寿社会課
108	まちづくり	99	シルバー人材センター登録会員数	Youtubeを利用した啓発をされたとは知りませんでした。昨年より登録者が増え、今後に期待できそうです。	経済観光部	経済・雇用戦略課
109	まちづくり	104	自主防災活動助成件数	市民にとって重要項目。ご苦労も多いと思いますが、引き続きよろしく申し上げます。	危機管理部	危機管理課
110	まちづくり	105	若者が取り組むまちづくり事業の支援	多くの大学生がより参画しやすい環境づくりを整備するため、大学等の教育機関との協議を深め、事業の位置付けや意義を関係者間で共有していくことが大切。	市民生活部	協働推進課



質問No.	柱	指標No.	評価指標	ご感想等の内容	回答部局	回答課
111	まちづくり	105	若者が取り組むまちづくり事業の支援	良いものであれば若者の発想や企画をどんどん取り入れ、既成概念にとらわれず、鳥取市の活性化という一番大事な問題に全員が向かい、前進していきたいと思えます。	市民生活部	協働推進課
112	まちづくり	105	若者が取り組むまちづくり事業の支援	若者もとても忙しいのでコミュニケーションを良くしていくことが重要に思います。	市民生活部	協働推進課
113	まちづくり	107	地域食堂の設置校区数	地域食堂が不要になる豊かな鳥取市になってほしい。	総務部人権政策局	人権推進課
114	まちづくり	108	共生型サービスの実施事業者数	話を聞いてくださったのに実施に至らなかった理由を分析し、ぜひ取り組みたいと感じていただける伝え方をしてほしい。	福祉部	指導監査室
115	まちづくり	108	共生型サービスの実施事業者数	障がいのある方が65歳以上になったときも安心してサービスが受けられるよう行政が取り組んでいただきたいです。	福祉部	指導監査室
116	まちづくり	109	医療・介護事業者の連携達成度指数の平均値	介護の仕事は大変重要であり必要不可欠な仕事です。充実して働けるよう、支援していくことが重要だと思います。	福祉部	長寿社会課
117	まちづくり	109	医療・介護事業者の連携達成度指数の平均値	このまま取り組んでください。	福祉部	長寿社会課
118	まちづくり	110	地域包括支援センター1ヶ所平均の高齢者人口	成果をあげていらっしゃるの素晴らしいです。②としたのは、あくまで目標6,000人に対して5,551人という部分での評価です。	福祉部	長寿社会課
119	まちづくり	112	地域の各種団体等関係者で話し合う場の設置数	専門的知識を持たない外部の者には、「生活支援コーディネーター」や「地域包括ケアシステム」と地域の関わりについて具体的なイメージを描きにくく、評価が難しい。	福祉部	長寿社会課
120	まちづくり	112	地域の各種団体等関係者で話し合う場の設置数	昨年より活発に活動されていて素晴らしいと思います。話し合うことで様々なアイデアも生まれてくるので、引き続き活動していただきたいです。	福祉部	長寿社会課

質問 No.	柱	指標 No.	評価指標	ご感想等の内容	回答部局	回答課
121	まちづくり	114	介護保険施設職員の平均充足度	コロナ禍により介護人材はワクチン接種が義務付けられてしまった企業・団体がほとんどだったため、有能な方でも体調不良になっている方が多いと聞く。スケールメリットのない鳥取県で、3回以上ワクチン接種をした専門職の方々が、今後体調不良になる事が予想される。せめて介護職の方たちにはワクチン接種をしないよう告知しなければ問題はもっと深刻化する。	福祉部	長寿社会課
122	まちづくり	115	国際交流員の国際理解講座等への派遣回数	昨年より実績を上げていただき関係者の努力を感じる。交流員を受入やすくする方法を周知されては。	企画推進部	文化交流課
123	まちづくり	116	防災リーダーの設置地区数	備えることが大切なので、防災リーダーを若者にも伝えてほしいと思います。	危機管理部	危機管理課
124	まちづくり	117	浸水が想定される区域内の雨水排水施設整備面積	整備すべき対象区域の面積と目標値の関係性が部外者には全く不明のため、評価の妥当性について判断困難。	下水道部	下水道企画課
125	まちづくり	117	浸水が想定される区域内の雨水排水施設整備面積	近年の報道を見ると重要な項目だと感じています。今後ともよろしくお願いします。	下水道部	下水道企画課